

第4回認証ミーティング

2006年4月23日(日)
東京国際フォーラム G409

患者さんに評価を受けるアンケート調査を公表し、診療内容についてのプレゼンテーションを外部の非医療系一般審査員を含めた審査員に提示し、公開の場で審査を受ける…わが国の医療界において例を見ない、極めて意欲的な医療機関評価制度が本格的にスタートしました。認証診療所数が極めて少ないため現在のところ対社会的な広報を控えめにしていますが、今後医療界に大きな問題提起になるものと考えています。初めての外部審査員は、フリージャーナリスト(元東京新聞記者)の安井禮子さん、食生活ジャーナリスト(元『栄養と料理』編集長)の佐藤達夫さんに委嘱し、佐藤さんに審査委員長をお引き受けいただきました。

第4回目の「健康を守り育てる診療所」認証ミーティングは、オピニオンメンバー会議の翌週、同じ東京国際フォーラムにて開催されました。今回から診療所認証は、健康を守り育てる受け皿として認証するいわゆる受け皿認証と、医療環境を変え社会を変えるところまでを射程に入れたリーダー認証の二本立てとなりました。今回から大きく変わったのは、患者アンケートによる診療所評価です。この認証事業(とくに受け皿認証)は、来院患者に「予防が可能である事実をしっかりと伝えていること」、そして健康を守り育てる歯科医療を受けたいと希望する患者さんに、それを実施することができる能力、診療システムを備えていると認められることを認証するものです。その点を受診した患者さんのアンケートで客観評価して公表しました。

この認証事業は、本研究会の設立趣旨である「では、私たちは何をすべきだろうか。そのような事実を明らかにしたとき、果たして現実の歯科医療は受け皿になりうるだろうか」という文脈で問われる「受け皿」となる歯科診療所を認証するものです。認証事業スタート当初、検査の実施率を指標として強調したために数字だけを追いかけるような誤解もありましたが、あくまでも患者さん本位の診療が基本です。リスク検査については、診療所として合理的な根拠のある明確な基準を示していただくことを求めました。



小林 誠さん



宇藤 博文さん



竹下 哲さん



半田 正さん



一般審査員の安井禮子さん(左)と佐藤達夫さん(右)



コアメンバー審査員の河野正清さんと足本 敦さん

この日のプレゼンテーションでは、主催者側から次の項目について各5分一律に紹介したのちプレゼンテーションをしていただきました。この診療所紹介と患者アンケートについては、診療所間の比較資料として詳しい資料がすべての参加者に予め配布されました。

《主催者側から診療所紹介》

診療所名、スタッフの構成、チェア台数の推移、1日来院患者数とレセプト件数の推移、来院患者数およびメンテナンス患者数およびそこから割り出したメンテナンス患者率

《患者さんアンケート結果》

回収率、回収枚数、回答年齢性別構成、正しい情報提供に関する七つの選択肢ごとの回答の百分率

プレゼンテーションは、診療所のポリシーや診療において力を注いでいる事柄、その成果のほか、臨床例の提示を含め、申請時に予め伝えた次の審査基準に沿って行っていただきました。審査は、外部審査員の佐藤さん、安井さんのほか、コアメンバーでこの日の認証審査を受けない河野正清さん、伊藤中さん、足本敦さん、国井一好さん、斉藤仁さんの7名が務めました。長時間にわたって気の抜けない終始熱心な審査が続きましたが、とくに外部審査員のお二人はすべてのプレ



森谷良行さん



山口将日さん



小野義晃さん



成田信一さん

センターに的確な質問を投げかけ、あるときはあたたかいコメントをいただきました。

《審査基準（内）は配点》

診療哲学（10）、プロフィール（10）、システムの確立（10）、チーム医療（10）、データから学ぶ（10）、カリエスリスク管理（20）、歯周病リスク管理（20）、社会貢献（5）、中長期目標（5）合計100点で、一応70点以上を認証ラインとしています。この日の採点結果は、受け皿認証では、74.9～87.9、リーダー認証は71.7～89.1で、審査者間に大きなバラツキも見

られましたが一応、全員が認証を受けました。

認証診療所の患者アンケート結果などは、認証診療所申請者が了解した場合、ホームページ上に公表します。

なお、認証診療所の更新基準があいまいになっていますが、認証申請時に求める診療所概況申告の他、年齢階層別メインテナンス患者数、コントロール下にある12歳児のDMFT、定期管理下にある40～65歳の年間換算平均喪失歯数を毎年、申告していただき公開します。また3年に1度患者アンケートを実施していただきます。アンケート結果の公表については、各診療所の判断に委ねます。



講評

「こんな歯医者さん」が近くにあれば…

—日本ヘルスケア歯科研究会・認証ミーティングに参加して—
佐藤達夫（食生活ジャーナリスト）

「痛い・高い・長い」…治療はやたらに痛くて、診療費は高く、治療に要する時間や待たされる時間が長いというのが、多くの患者（というか一般市民）が抱いている「歯医者さんの印象」だと思う。

今回、診療所評価のための審査会（認証ミーティング）の審査を経験し、「痛くもなく・高くもなく・長くもない」歯科診療があることを知った。

私たち（団塊の世代）にとって「虫歯はあって当たり前」である。子供の頃、虫歯のない友だちはいなかったし、現段階で「虫歯治療ゼロ」という人はほとんどいないであろう。今回の審査会で発表をした歯科医の多くから「小学校卒業時の虫歯ゼロは達成可能である」という発言を聞いたときは、にわかには信じられなかった。しかし、その実例を写真で見せられ、小泉首相ではないが「感動した！」。

また、ある発表者からは歯の疾患は「予防できる病気である」という発言があった。研究会の方々にとっては当然のことなのであろうが、これも私にとっては新鮮な響きであった。私たちは（私は？）、歯の疾患を「病気」とはとらえていなかった。「じゃ、何？」と問われれば「病気」としか答えようがないのだが、感覚的には病気というよりも「ケガ」に近い。

ケガだから虫歯になれば（削って詰める）治療はしてもらう。でも「ケガ」だから予防しようなどとは考えない。「ケガ」だから、なってしまったら仕方なく歯科医に行って治す。ぜったいに「ケア」などとは結びつかない。ケアが充分にできて虫歯になる患者がいなくなったら歯医者さんはつぶれるんじゃないの、などと要らぬ心配までしている。

さらに、歯科衛生士の役割がこれほど大きいとはまったく知らなかった。私には歯科衛生士と歯科助手との（あえていえば歯科受付でさえ）区別がついていなかった。全部が「歯医者さんのお手伝い」にしか見えなかった。治療は歯科医が行ない、治療ずみの歯あるいは今は健康な歯の保守や予防や手入れ等々は歯科衛生士の役割であることをはじめて知った。ましてや、今回発表した歯科のように、歯科衛生士の専用のスペースがあり、専用の治療チェアがあり、来院した患者が歯科医ではなく歯科衛生士の治療（？）だけを受けて帰るケースがあることなど、想像だにできなかった。

ただ、自分の無知を棚に上げてあえていわせてもらえれば、多くの人たちの認識はこのレベルではないかと推察する。この現状は、私の無知によるものだけではなく、「今までの（恐らく今でも多くの）歯科医が、患者に対してそのように対応している」責任も大きいのではないだろうか。

逆に言うと、今回認証審査を受けた11名の歯科医は、町中の多くの歯科医よりは明らかにハイレベルに位置するのだろうというのが偽らざる感想である。こんな歯医者さんが近くにいれば、その地区の人たちは幸せだ。



高木景子さん



杉山精一さん



藤木省三さん

そういう意味では、全員に満点近い評価をしたかったのだが、一方ではこの認証システムそのものの社会的信頼度をも考慮すると、いかにも“ウチウチでほめあっている”という印象を与えるべきではないという意識も働き、厳しい評価もしたつもりである。

このシステムが社会的に高い評価を受け、「日本ヘルスケア歯科研究会認証の歯科医が日本中どこにでもある状態」になってくれることを願うばかりだ。



認証ミーティング印象記

当たり前前かが当たり前に行われる歯科医療に。患者と医師が共に育てあう歯科医療を目指して

安井禮子（ジャーナリスト・元東京新聞）

こんな意欲的な歯科クリニックが自分の住む街にもほしい—日本ヘルスケア歯科研究会の第4回「健康を守り育てる診療所」認証の審査会で、歯科医師の方たちのプレゼンテーションを聴きながら、何度もそう思った。

同研究会では、患者による評価を重視する立場から、認証に当たっては、患者の受診の感想を各診療所ごとにアンケートし、それを第三者が集計して審査に反映させているという。今回からは、それに加えて新しく歯科医療の外部の審査員を入れることになり、その一人として参加を求められたものだ。最近各医学会や研究会による認定医や専門資格が急増しているが、患者による評価を取り入れているところは、他にはないといわれる。

しかし、専門外の者が診療所の活動に点数をつけることには、やはりとまどいもある。だが、日常生活の中では、患者は医師や医療機関について、口コミなどで本音で“評価”しており、最近インターネットのサイトで比較しながら医療情報を選ぶようにもなっている（それには誤解や的外れなこともあるのだが）。この際、聞きたいことは率直に質問しながら、患者の見方を反映することに意味があると自分の役割を位置づけた。

プレゼンテーションが始まってまず驚いたのは、内容の濃さと発表者の熱意だった。つい引き込まれて、点数をつける

のが後まわしになったり、満点以上ではとったり。冷静な採点とはいかなかった点はお詫びしておきたい。クリニックの現状を公開し、診療方針に込めた信念、患者への指導やメンテナンスの方法、写真による説明や

記録、データの分析、設備面の工夫など、15分の持ち時間にぎっしり盛り込んだ発表は、これだけの準備をしてこの場に参加されたことで認証の条件は十分満たしているのではと思えたほどだ。そして、認証の採点とは別に、「自分が掛りたい歯科クリニック」を会場の参加者全員の投票で選んでみてはという、不埒な(?)案も考えたりした。

各歯科クリニックの取り組みでは、地域の条件や患者層に合わせて独自の取り組みに力を入れていることに、これからの歯科医療の可能性を見る思いがした。印象に残った例では、待合室を活用して患者向けのセミナーを開いている歯科クリニックでは、苦心して用意した話を真剣にメモしながら聞いてくれる患者の様子にスタッフが逆に励まされたり、治療の方向性を共有することで診療がやりやすくなるなどの成果も出ている。「互いに学ぶ場であり、われわれも育てられている」という言葉には実践で得た確かな手応えが感じられた。

子どもの好きな機関車模様の診察着で楽しく歯のケアに慣れさせる一方、歯科衛生士らスタッフが子育てしながら働き続けられるよう保育施設を併設しているユニークな歯科クリニックもある。少子化対策は、女性が子どもをもっても働き続けられる条件整備がカギといわれるだけに注目される試みだ。

だが、熱心なだけに気になる例もあった。患者への説明に時間をかけるというが、それが本当に役立っているのかどうか。説明や指導は患者が実践できてこそ意味がある。短時間ずつ繰り返しチェックを受けながら身に着けていく、お稽古事のような歯磨きレッスンを受けたと思う患者もいるのでは。

発表者の一人に、プレゼンテーションの準備にどれくらい時間をかけたか訊ねると、「1月から始めて、出来たものをスタッフに見せて何度も手直した。その過程でスタッフの意識が変わってきたのが収穫だった」という。この答えに、患者と歯科医療のスタッフが共に育つ“共育”こそが、「健康を守り育てる診療所」認証制度の最大の効果ではと思った。

現在の歯科医療は多くの問題を抱えているといわれる。歯のメンテナンスに関する点数が診療報酬改定で引き下げられ、健康保険ではメンテナンスはできないという声も良心的な歯科医師からきかれる。一方、残った歯が少ない人ほど平均医療費は高くなっているという最近の調査結果もある。こうした逆行する制度の矛盾を正していくことも重要な課題であろうと考える。



聴講者より

認証ミーティングに参加して

文教通り歯科クリニック

認証ミーティングには、スタッフ5名とドクター1名で参加させていただきました。

経験年数の違う歯科衛生士4名と、やる気満々の歯科助手それぞれの目から参加させていただいた感想を書かせていただきます。

実際に審査を受けられた先生方・医院の素晴らしさに感激いたしました。それぞれ刺激をもらって帰ることができました。今後の歯科医療に役立てていきたいと思えます。文面には失礼な部分もあるかもしれませんが、出席者の感想を列挙させていただきます。

【審査に対して】()内は経験年数

・同じ審査を受けているにもかかわらず、発表者によって発表時間が違う審査というのは、発表される方に対して失礼では、と感じました。

・一般審査員を増やしたり、評価の配分を変えたりした方がいいと思います。2人では、あまりにも少なく、審査員の方が遠慮してしまっているように見えました。

(歯科衛生士・歯科助手 2年目)

・審査基準が判りづらいので、発表にばらつきがあったのではないのでしょうか。発表の方向性が違うと評価しにくいと思います。規格性のある口腔内写真やデンタルを撮る必要があるように、審査にもしっかりとした基準を設けなければ、きちんとした評価はできないのではないのでしょうか。

(歯科衛生士 24年目)

・一般審査員がいることで、患者側からの認証の意義が見えてきました。例えば、退職するときの引継ぎや退職者への待遇(パートでも継続してもらうなど)が患者さんへの負担の増減につながることで、カウンセリングなど説明だけのための来院を患者さんはあまり希望しないこと、など…。

(歯科衛生士 10年目)



会場の様子

・受け皿の審査で、何が重要視されるのか明確にして欲しい。
(歯科衛生士 10年目)

【プレゼンテーションの感想】

・各医院で、ドクターの専門やスタッフの人数、立地、などの違いがあり、その違いに対してそれぞれの医院で工夫して対応していた。自院の条件に合った体制を整えていた。

・データの管理・蓄積の必要性を再認識しました。

(歯科衛生士 2年目)

・待合室の充実・健康セミナーの開催などすばらしかった。

(全員)

・普段診療でやっていることとアンケートの結果とが結びついていなくて、ショックを受けていた発表者がおられた。自分のところでアンケートをとった場合、説明が伝わっているだろうか、改めて見直すきっかけになった。

(歯科助手 2年目)

・医院のプロフィールをみていると、最初は予防を意識していなかったりスタッフが辞めてしまったりと、最初からうまくいっていたわけではなく少しずつ改善していったことが伝わってきました。

(歯科衛生士 3年目)

・普段の講演と違って緊張感がとても伝わってきました。

(歯科衛生士 2年目)

・各医院が、これまで苦勞して築きあげてきたものを聞くことが出来てよかった。

(歯科衛生士 24年目)

認証を受けた歯科医院 (プレゼンテーション順)

〈受け皿認証〉

小林歯科クリニック (小林 誠)	東京都渋谷区
宇藤歯科医院 (宇藤博文)	東京都町田市
竹下歯科医院 (竹下 哲)	広島県広島市
はんだ歯科医院 (半田 正)	福岡県糸島郡
もりや歯科 (森谷良行)	埼玉県坂戸市

〈リーダー認証〉

山口歯科医院 (山口将日)	茨城県行方市
わかば歯科医院 (小野義晃)	静岡県駿東郡
自由が丘矯正歯科クリニック (成田信一)	東京都世田谷区
たかぎ歯科医院 (高木景子)	兵庫県神戸市
杉山歯科医院 (杉山精一)	千葉県八千代市
大西歯科 (藤木省三)	兵庫県神戸市

会務報告・会務案内

オピニオンメンバー信任報告
第1回オピニオンメンバー会議報告

【第1次オピニオンメンバー全員信任】

オピニオンメンバーの信任投票の結果、第1次オピニオンメンバー候補38人全員が信任されました。残念ながら、うちお二人がご家庭の都合などにより信任後辞退されました。その結果、以下の36人が第1次オピニオンメンバーとなりました。

(敬称略 順不同)

古仙芳樹 (DR・調布市) 鈴木正臣 (DR・蓮田市)	丸山和久 (DR・神戸市) 田村 恵 (DH・小平市)
丸山吉弘 (DR・深谷市) 薮下雅樹 (DR・習志野市)	長岐祐子 (DH・秋田市) 長山和枝 (DH・春日部市)
米山吉洋 (DR・千葉市) 進 健修 (DR・東京都北区)	竹下 哲 (DR・広島市) 小野義晃 (DR・静岡県駿東郡)
森谷良行 (DR・坂戸市) 岡本昌樹 (DR・栃木県下都賀郡)	鈴木勝美 (DR・白河市) 金子信一郎 (DR・山形県東置賜郡)
安田直美 (DR・松戸市) 小林 誠 (DR・東京都渋谷区)	阿部 恵 (DR・大分市) 金尾好章 (DR・和歌山市)
野村英孝 (DR・前橋市) 田中正大 (DR・川口市)	中川正男 (DR・大阪市) 加藤 徹 (DR・東根市)
三辺正人 (DR・千葉市) 山口將日 (DR・行方市)	菊地 誠 (DR・三島市) 上浦庸司 (DR・小樽市)
太田隆温 (DR・倉敷市) 渡辺 勝 (DR・春日部市)	榎安秀樹 (DR・帯広市) 千枝喜恵 (DR・苫小牧市)
近藤明德 (DR・神戸市) 浪越建男 (DR・香川県三豊郡)	大楽貴彦 (DR・白河市) 池田正人 (DR・福岡市)

【第1回オピニオンメンバー会議報告】

4月16日、信任を受けたオピニオンメンバーが集まり、第1回オピニオンメンバー会議が開催され、会長選出、会則改正など重要案件が決定されました。

開催日：平成18年4月16日 東京国際フォーラム会議室 G610

出席者：阿部 恵、千枝喜恵、中川正男、太田隆温、長岐祐子、岡本昌樹、小野義晃、丸山吉弘、菊地 誠、森谷良行、安田直美、薮下雅樹、近藤明德、鈴木正臣、米山吉洋、鈴木勝美、渡辺 勝、田中正大、田村 恵 (以上オピニオンメンバー：19名) 委任状提出者9名

伊藤 中、藤木省三、足本 敦、河野正清、国井一好、斉藤 仁、杉山精一 (以上コアメンバー)

事務局：秋元秀俊、小林ひろみ、依田敦子

コアメンバー会議を代表して、セカンドステージの基本方針およびオピニオンメンバー会議の目的について藤木さんが説明したあと、歯科衛生士会準備会の長岐さんから活動報告があり、参加オピニオンメンバー全員の簡単な自己紹介を経て議長に薮下雅樹さんが選出され、薮下さんは議事録署名人に渡辺勝さんを指名し、オピニオンメンバー会議の開催を宣言した。

議案1 会則改正案 (改正会則別掲)

藤木さんより「主な改正点」について説明の後、秋元さんより改正条文が説明された。

主な改正点は、新しくオピニオンメンバーという組織を作った点。案には、その選出方法、権限にかかわる項目、オピニオンメンバー会議の承認事項にかかわる項目、決算、それから事業計画のオピニオンメンバー会議による審議と承認などを列挙。また研究会としての役員である代表、副代表、監事を設置したい。世話役を削除。新たに歯科衛生士会を作ることができる仕組みを加えた。

近藤さんから修正動議

診療所の経費で勤務歯科衛生士の正会員登録をしているが、退職に伴って名義変更をしたいとする趣旨により第26条につきの一文を加える修正動議が出された。

「診療所勤務正会員の名義は、本人が同意した場合に限り、退職に伴う退会に際して継続性を失わない範囲で新規会員の名義に変更することができる」

反対多数により否決。

議案2 研究会代表選出、副代表指名

コアメンバーを除き、指名委任状を加えた21人の議決有権者による無記名投票の結果、藤木省三さんが12票を集め選出

された。藤木さんにより副代表に齊藤 仁さんが指名された。

なお、監事には、会計監事の鈴木正臣さんと田中正大さんが留任することが了承された。

議案 3 昨年度事業報告

第9回および10回シンポジウム、コアメンバー会議、第12回東京基礎コース、ニュースレターを6回発行、会誌の10月8日付け発行などが報告され承認された。

議案 4 決算報告、監査報告（概略別掲）

秋元さんより2005年度の大規模な赤字の原因などについて詳細な説明の後、今後の見通しが説明された。監事の鈴木さんと田中さんが監査報告を行い、挙手により承認された。

議案 5 事業計画報告

1. シンポジウム

- ・ 杉山さんより秋のシンポジウム進捗状況の報告
- ・ 長岐さん（歯科衛生士会準備会）よりシンポジウムでのスタッフ向け企画の説明
- ・ 渡辺さん（会員支援部会）よりシンポジウム前夜祭についての説明

2. 河野さんより歯科衛生士育成プログラムの報告

3. 齊藤さんより基礎コースの企画説明。

健康を守り育てる歯科医療への理解を広げるためにも、まず、できるだけ多くの参加者を募る、という趣旨から、今回は会員・非会員の別を問わず募集する。参加しやすくするために日程は日曜日1日のみ、会場も東京だけでなく大阪でも設定。今後、地方開催を予定。

- ・ 7月9日：東京田町の建築会館ホール
- ・ 7月23日：大阪、千里ライフサイエンスホール

4. 杉山さんより禁煙支援調査事業の経過報告

2001年～2005年の禁煙者対象に歯科医療における禁煙支援の実態調査を実施。参加18医院中、現段階での回収は16医院。データ総数316件。結果を5月の中旬に報告予定。

5. 秋元さんより企画商品の説明

- ・ 健康手帳について
- ・ バインダーに入れるA6サイズ。1冊約200円で間もなく販売開始予定。
- ・ ウィステリアのバージョンアップ

6. 藤木さんより認証ミーティングの説明

7. カリエスリスクコントロール療法の先進医療への申請（河野歯科医院による）について

他、近藤さんから日本歯科医師会に対して、「健康を守り育てる歯科医療を推進するよ」という申し入れを行うべきだ」との要請があった。また、鈴木さんから国民にもっと情報を提供すべきだとの意見があった。また地元の歯科医師会と協調した神戸の会員の活動が紹介された。

（議事録は近日中にホームページに掲載します）

【改正会則】

4月16日の第1回オピニオンメンバー会議で研究会会則が改正されました。改正された主な項目は以下のとおりです。

- ・ 組織とくにオピニオンメンバーとその選出方法、および権限にかかわる項目の新設
- ・ オピニオンメンバー会議の承認事項にかかわる項目、決算、事業計画のオピニオンメンバー会議による審議と承認、会則の改正規定などの新設
- ・ 役員の新設。代表などの選出方法、その職務、任期などの規定新設。
- ・ 職能別組織の位置付け新設。

その他現状にそぐわない規定の修正（たとえばコアメンバーの交通費を支払わない規定の削除、基礎コース謝礼基準の一部削除）また条文構成上＜本会の事業＞の条文を独立（新3条）させ、公益事業と収益事業を区分し、現状に即して一部追加・削除、法人会員資格審査や役員無報酬原則の＜会員＞の章への移動など、改正が多岐にわたるため条文番号を整理しています。そのため極めて煩雑ですので、改正後の会則を以下に示しますが、新旧会則の対照表を掲示しません。旧会則については、会誌末尾をご参照ください。

日本ヘルスケア歯科研究会会則

第1章 総則

本会の名称

第1条 本会は日本ヘルスケア歯科研究会（The Japan Health Care Dental Association）と称する。

本会の目的

第2条 本会は、人々がその生涯にわたって健康な歯列を維持し、快適な咀嚼と自由な会話と若さと尊厳に満ちた微笑みを失うことなく、それぞれの生活の質を高めることを支援する。

本会の事業

- 第3条
1. 本会は本会の目的を達成するため、次に掲げる非営利活動を行う。
 - 1) 毎年1回以上の学術集会を開催する。
 - 2) 臨床から得られるデータを集約し、保健・医療環境の改善に役立てる。
 - 3) ヘルスプロモーションに寄与する研究を援助するとともに積極的に研究協力を行う。
 - 4) 会誌を毎年刊行し、会員に配布する。
 - 5) 毎年6回、ニュースレターを刊行し、会員に配布する。
 - 6) 会員および一般市民に歯科医療およびヘルスケアに関する情報を提供する。
 - 7) 会員名簿を発行する。
 - 8) 必要に応じて専門分科会を組織する。
 - 9) 口腔の健康の価値と可能性を伝え、人々の生活の質を向上させるために報道機関に情報を提供する。
 - 10) 会員の地域活動を支援する。
 2. 本会は、その他の事業を行う。
 - 1) 会員の便宜のために診療を助ける商品を企画頒布する
 - 2) 本会の目的に資する学術書、啓発書を随時企画する。

第2章 会員

会 員

- 第4条 本会は次の会員により構成される。
1. 正会員：本会の設立趣旨に賛同し、積極的にその役割を果たす意思のあるものは、入会手続きの完了をもって正会員となることができる。
 2. 法人会員：本会の設立趣旨に賛同し、積極的に本会の活動を支援する法人は、入会手続きの完了をもって法人会員となることができる。
 3. 準会員：本会会員の管理・運営する診療機関に勤務、または本会会員と雇用関係にある歯科衛生士、歯科技工士、保健師、栄養士などで、本会の設立趣旨に賛同し、積極的にその役割を果たす意思のあるものは、準会員登録の完了をもって準会員となることができる。

会員資格

- 第5条 本会の設立趣旨に賛同し、本会則を遵守する意思のあるものは、国籍、信条、性別、資格、職業を問わず、本会事務局にその意思を伝え、入会金および年会費の納入をもって会員となることができる。
- ただし、入会を希望する法人は、会員資格審査委員会による審査を経て法人会員となることができる。
1. 法人会員は入会金を必要としない。
 2. 会員は事務局が別に定める書式に従い、会員情報の収集に協力しなければならない。
 3. 会員資格審査委員は、入会を希望する法人の資格審査を行い、会員の資格の疑義について審査し、資格審査結果をオピニオンメンバー会議に諮る。

退 会

第6条 退会を希望する者は、その旨を文書で事務局に通知し、退会することができる。ただし、納入済みの入会金、年会費の返却を求めることはできない。

資格の喪失

第7条 退会の意思の有無にかかわらず、会費の納入がないものは、会員資格を喪失する。また、本会または本会会員の名誉を著しく傷つけた者、資格などを偽って入会した者は、資格を喪失する。本会の趣旨と異なる事業活動・組織活動の便宜のために本会を利用する者は、資格を喪失する。会員資格の喪失は、会員資格審査委員会がオピニオンメンバーの三分の二以上の同意をもって決する。

会員の権利

第8条 会員は本会の活動に参加することができる。また本会の正会員および法人会員は、次の便宜を受けることができる。準会員は次の第1項を除き便宜を受けることができる。

1. 会誌、ニュースレターの配布を受けることができる。
2. 会誌に原著論文、短報、総説を投稿することができる。
3. 本会が主催する学術講演会、各種集会についての情報を受けることができ、特別の条件で参加することができる。

総 会

第9条 本会の事業、役員承認、会務の運営、予算および収支決算などに関する事項を審議するため毎年1回総会を開催する。また必要に応じて臨時総会を開催することができる。総会の開催は、次の各項に定める。

1. 総会は会長が招集する。
2. 総会は出席会員で構成し、議長は出席会員の中から選出する。
3. 議案は、出席者により承認、または出席者の過半数の賛成をもって議決される。評決方法は議長がこれを決する。なお、総会は、オピニオンメンバー会議をもってこれに代えることができる。

第3章 組織および役員

本会の組織において変わらないものは、必要に応じて組織を変革するという原則である。本会の組織は、設立趣旨である医療環境の改善と新しい医療の受け皿づくりを効率的、機動的に実現するためにたえず自ら変革する。

役 員

第10条 1. 本会は次の役員を置く。

- 1) 代表 1人
 - 2) 副代表 1人
 - 3) 監事 2人
2. 代表はコアメンバーの中からオピニオンメンバー会議において選出する。代表は、副代表を指名する。
3. 監事は、オピニオンメンバー会議において選出される。監事は、コアメンバーまたは事務局員を兼ねることはできない。

第11条 役員は以下のとおりである。

1. 代表は本会を代表し、コアメンバー会議を統括し、オピニオンメンバー会議を招集する。
2. 副代表は、代表を補佐し、代表がその職務を全うできないときには、その職務を代行する。
3. 監事は、コアメンバーの職務執行の状況、財産について監査し、重大な会則違反や不正があった場合にはオピニオンメンバー会議を招集し、必要と判断した場合には会員にこれを報告する。

第12条 役員は、2年とする。ただし再任を妨げない。役員は辞任または任期満了後も、後任者が選任されるまでは、その職務を行わなければならない。

オピニオンメンバー

第13条 1. オピニオンメンバーは、本会の運営および事業計画について日常的に意見を交換し、オピニオンメンバー会議を開催して、次の事項を承認あるいは決定する。

- (1) コアメンバーのなかから本会の代表を選出する
- (2) 事業計画を審議し、予算など重要事項を承認または修正する
- (3) 監事を選任し、会計を監査する
- (4) 会の運営にあたるコアメンバーの貢献度を評価し、コアメンバー資格を更新し、あるいは更新しない。

2. 本会の代表は、オピニオンメンバーおよびコアメンバーを招集して、オピニオンメンバー会議を毎年1回以上開催する。

3. オピニオンメンバー会議は、オピニオンメンバーとコアメンバーを合計した定員の3分の2以上の出席によって成立する。ただし、予め議決権を他のオピニオンメンバーに委任したものは、出席とみなす。

4. オピニオンメンバーは、議長を互選し、議事を進行する。

第14条 オピニオンメンバーの選出

1. オピニオンメンバーの条件

オピニオンメンバーの候補者は、会の設立理念を十分理解している正会員で、ヘルスケアシンポジウム、基礎コースにそれぞれ1回以上の参加経験または歯科衛生士卒業後研修の履修経験をもつことを条件とする。ただし、コアメンバーを除く。

2. オピニオンメンバー候補の選出方法

コアメンバー会議は、オピニオンメンバーの任期満了の2カ月前に、選挙管理委員会を組織し、オピニオンメンバー候補を募る。選挙管理委員会は、自薦、他薦により応募したオピニオンメンバー候補について、会員の信任を問うため候補者名簿を作成する。定員を上回る自薦、他薦の候補があった場合、選挙管理委員会は、地域的偏り、職業的偏りをなくすことを念頭に候補者を調整するが、明確な理由なく掲載を拒否することはできない。

自薦候補は：一定の告知期間にオピニオンメンバーとしての志望理由を400字程度にまとめて選挙管理委員会へ提出する

他薦候補は：正会員2名以上の推薦を受け、選挙管理委員会へ提出する

3. オピニオンメンバーの選任

選挙管理委員会は、オピニオンメンバー候補者名簿を、送付可能な全正会員に送付する。オピニオンメンバーは、会員の同意を得て選任される。候補者名簿の特定の氏名について、会員の1割以上の者が否認の意志を示した場合は、その候補者をオピニオンメンバーとして選任しない。会員が否認の意志表示をしない場合は、同意したものとみなされる。

4. オピニオンメンバーの定員

オピニオンメンバーの定数は、10人以上40人程度とする。

5. オピニオンメンバーの任期

オピニオンメンバーの任期は2年とする。

6. オピニオンメンバーの再任

オピニオンメンバーは、2と同じ方法で選任された場合、再任を妨げない

コアメンバー

第15条 コアメンバーは、本会の執行機関であるコアメンバー会議を組織する。コアメンバー会議は、本会の事業、部会事業計画の承認および予算に関する事項を審議する。コアメンバーは、部会を組織し、運営し、予算を執行し、本会の名において本会の事業を行う。コアメンバーの定員は、3名以上とする。

第16条 次の資格要件を満たす正会員は、2人以上のコアメンバーの推薦を受けるとともに、コアメンバーミーティングあるいはそれに準ずるコアメンバーの集まりにおいて承認を受け、本会のコアメンバーとなることができる。

1. 会の理念を十分に理解している

2. 会の運営に積極的に参加し、その事業に協力している

3. その責任を有する医療機関が、「健康を守り育てる歯科診療所」として認証（いわゆるリーダー認証）を受けている

第17条 コアメンバーは、研究会の諸事業に対する貢献度について、別に定める基準（ヘルスの蓄積）により、オピニオンメンバー会議において毎年評価を受ける。

第18条 コアメンバー会議は、以下の運営担当者を任命する。

1. ニュースレター編集委員

2. 会誌編集委員

3. 会計委員

4. 部会の活動評価役

5. 会員資格審査委員

役員の無報酬

第19条 代表、コアメンバーおよびオピニオンメンバー、監事など本会の役員などは、すべて無報酬とする。但し、歯科医師以外の役員についてはこの限りではない。なお本条は、コアメンバー会議の交通費、部会および部会のプロジェクトチームの活動にかかわる旅費・宿泊費、科学顧問について、その役務に応じた謝礼を支払うことを妨げるものではない。また、講演会等の講師謝礼等については、その都度別に定める「講演会等講師謝礼規定」により支払う。

部会および職能別組織

第20条 部会は、3名のコアメンバーの参加と既存のすべての部会座長の同意を得て設立される。部会は明確な目的をもって設立され、目的が達せられたときに解散する。

1. 部会には、積極的な協力会員（必要に応じて法人会員、準会員を含む）を募り、部員とする。

2. 部会は、コアメンバーによって部会座長を互選する。座長の任期は1年とし、再任を妨げない。

3. 部会は、必要に応じて短期的に具体的な目的をもったプロジェクトチームを組織することができる。プロジェクトチームのメンバーは必ずしも会員であることを要さない。プロジェクトチームのメンバー構成は部会において決める。

4. 各々の部会の情報はすべてコアメンバーに開かれていなければならない。また部会は相互に連携し協力してプロジェクトを遂行するが、部会の活動の独立性は尊重しなければならない。

第21条 会員は、コアメンバー会議の承認を得て職能別組織（例えば歯科衛生士会）を組織することができる。

コアメンバー会議が任命する運営担当者（各種委員）、コアメンバーが主宰する部会、職能別組織は、コアメンバー会議の了承を得て、年度事業計画に基づき、本会とともに事業を行う。

第4章「健康を守り育てる歯科診療所」の認証

第22条 一定の条件を満たした本会の正会員の管理する医療機関を、「健康を守り育てる歯科診療所」として認証し、公表する。

第23条 認証の基準は、以下のとおりで、詳しくは別に細則により定める。

1. 「健康を守り育てる歯科診療所」認証の考え方

「健康を守り育てる」の最低必要条件を満たす診療所を認証し、健康維持を望む患者のアクセスを改善する。

2. 申請条件

直近3年間の総患者のほぼ30%以上に対して、定期的なメンテナンスを行っており、その資料管理ができていない診療所。

3. 認証条件

患者アンケートの実施と結果の公表を承諾していること。「健康を守り育てる歯科診療所づくり報告会」および同等の集いにおいて、明瞭に実例とデータを示し、必要な条件を満たしていると判断されること。

第5章 会計

第24条 本会の運営および事業は、入会金、会費および寄付金、事業収益によって賄われるものとする。会計は、研究会の経常支出にかかわる一般会計、入会時および会員資格にかかわる第一特別会計、定期学術集会・研修事業にかかわる第二特別会計、企画商品など収益事業にかかわる第三特別会計から構成される。

会計年度

第25条 本会の会計年度は、1月1日より12月31日までとする。

会費

第26条 会費は前納制とし、次年度分を当年度に納めるものとする。会員の年会費は、次に定める。

1. 正会員

歯科医師 12,000円

その他 6,000円

法人会員 50,000円

準会員は会費納入義務を負わない。

2. 正会員は、入会金として入会時に歯科医師 5,000円、その他 3,000円を納めるものとする。

第6章 会則

会則の改正

第27条 本会則の改正は、オピニオンメンバー会議の3分の2以上の賛成を得なければならない。

付則

この会則は、平成10年（1998年）3月1日から施行する。

平成13年（2001年）3月18日に改正。

平成14年（2002年）3月17日改正。

平成14年度の会計年度を平成14年3月1日より平成14年12月31日までとする。

平成15年（2003年）3月9日改正。

平成18年（2006年）4月16日改正。

【決算報告】

収支計算書総括表

2005年1月1日から2005年12月31日まで

(単位：円)

科目	合計	一般会計	第一特別会計	第二特別会計	第三特別会計
【経常収入の部】					
入会金収入	801,000	0	801,000	0	0
会費収入	21,157,000	21,157,000	0	0	0
事業収入	24,222,010	0	0	15,152,000	9,070,010
雑収入	440,626	348,826	81,500	10,000	300
経常収入合計	46,620,636	21,505,826	882,500	15,162,000	9,070,310
【経常支出の部】					
事業費	51,137,213	16,945,243	3,361,839	23,658,971	7,171,160
管理費	10,276,802	7,412,993	89,939	1,735,304	1,038,566
経常支出合計	61,414,015	24,358,236	3,451,778	25,394,275	8,209,726
経常収支差額	△ 14,793,379	△ 2,852,410	△ 2,569,278	△ 10,232,275	860,584
【その他資金収入の部】					
その他資金収入合計	0	0	0	0	0
【その他資金支出の部】					
固定資産取得支出	270,820	270,820	0	0	0
その他資金支出合計	270,820	270,820	0	0	0
当期収支差額	△ 15,064,199	△ 3,123,230	△ 2,569,278	△ 10,232,275	860,584
前期繰越収支差額	80,118,668	65,941,882	746,467	4,409,675	9,020,644
時期繰越収支差額	65,054,469	62,818,652	△ 1,822,811	△ 5,822,600	△ 9,881,228

収支計算書

2005年1月1日から2005年12月31日まで

一般会計

(単位:円)

科目	前年度決算額	決算額
【経常収入の部】		
会費収入	[31,126,000]	[21,157,000]
歯科医師	27,178,000	17,958,000
歯科衛生士他	1,458,000	1,254,000
法人会員	2,400,000	1,900,000
購読会員	90,000	45,000
雑収入	[4,184]	[348,826]
受取利息	51	643
受取賃貸料	3,133	0
雑収入	0	345,183
返金手数料	1,000	3,000
経常収入合計	31,130,184	21,505,826
【経常支出の部】		
事業費	[9,380,734]	[16,945,243]
会議費	86,520	2,859,993
事務局旅費交通費	1,560	640
通信運搬費	1,606,849	1,982,374
印刷製本費	211,700	0
雑費	0	12,112
Newsletter 制作	2,878,250	3,560,000
会誌制作費	2,644,867	2,795,326
運送・通信事務	81,333	55,000
HP 情報管理運営	557,850	875,500
会員配布資料	73,080	514,900
会議、役員交通費	838,140	291,460
広告宣伝費	0	98,000
勉強会	0	120,000
自主研究費	393,405	3,779,938
企画商品	7,180	0
管理費	[10,478,326]	[7,412,993]
会議費	2,520	23,120
役員旅費交通費	50,121	10,000
事務局旅費交通費	320	0
通信運搬費	336,601	263,274
事務設備費	1,296,297	582,859
事務用品費	266,326	120,914
印刷製本費	429,100	546,000
委託費	0	140,700
雑費	1,453,234	1,455,561
事務局費	6,643,807	4,270,565
経常支出合計	19,859,060	24,358,236
経常収支差額	11,271,124	△ 2,852,410
【その他資金収入の部】		
敷金・保証金戻り収入	[100,000]	[0]
その他資金収入合計	100,000	0
【その他資金支出の部】		
固定資産取得支出	[199,800]	[270,820]
什器備品購入支出	199,800	270,820
その他資金支出合計	199,800	199,800
当期収支差額	11,171,324	△ 3,123,230
前期繰越収支差額 (2003, 2004)	54,770,558	65,941,882
次期繰越収支差額 (2005, 2006)	65,941,882	62,818,652

収支計算書

2005年1月1日から2005年12月31日まで

第一特別会計

(単位:円)

科目	前年度決算額	決算額
【経常収入の部】		
入会金収入	[1,906,000]	[801,000]
歯科医師	1,750,000	675,000
歯科衛生士他	156,000	126,000
雑収入	[60,000]	[81,500]
雑収入	60,000	81,500
経常支出合計	1,966,000	882,500
【経常支出の部】		
事業部	[261,873]	[3,361,839]
会員配布資料	261,873	260,709
会員名簿	0	3,101,130
管理費	[2,998]	[89,939]
事務用品費	2,998	0
経常支出合計	264,871	3,451,778
経常収支差額	1,701,129	△ 2,569,278
【その他資金収入の部】		
その他資金収入合計	0	0
【その他資金支出の部】		
その他資金支出合計	0	0
当期収支差額	1,701,129	△ 2,569,278
前期繰越収支差額 (2003, 2004)	△ 954,662	746,467
次期繰越収支差額 (2005, 2006)	746,467	△ 1,822,811

収支計算書

2005年1月1日から2005年12月31日まで

第二特別会計

(単位:円)

科目	前年度決算額	決算額
【経常収入の部】		
事業収入	[24,351,000]	[15,152,000]
基礎コース	7,392,000	5,000,000
認証ミーティング	371,000	30,000
診療所ミーティング	102,000	408,000
ファシリテータートレーニング	0	144,000
スタッフミーティング	0	258,000
第7回シンポジウム	52,000	0
第9回シンポジウム	5,529,000	5,661,000
(第7回 春)		(第9回 春)
第10回シンポジウム	10,905,000	3,651,000
(第8回 秋)		(第10回 秋)
雑収入	[17,000]	[10,000]
返金手数料	17,000	10,000
経常収入合計	24,368,000	15,162,000
【経常支出の部】		
事業費	[29,078,182]	[23,658,971]
第9回シンポジウム	28,860	0
第10回シンポジウム	29,230	0
第9回シンポジウム	8,881,250	9,528,479
(第7回 春)		(第9回 春)
第10回シンポジウム	13,093,686	9,093,194
(第8回 秋)		(第10回 秋)
基礎コース	4,759,595	4,257,578
DH 卒後教育プログラム	1,739,703	3,330
診療所づくりミーティング	0	231,090
ファシリテータートレーニング	57,750	257,149
スタッフミーティング	0	242,151
認証ミーティング	488,108	46,000
管理費	[29,200]	[1,735,304]
雑費	29,200	0
事務局費	0	1,735,304
経常支出合計	29,107,382	25,394,275
経常収支差額	△ 4,739,382	△ 10,232,275
【その他資金収入の部】		
その他資金収入合計	0	0
【その他資金支出の部】		
その他資金支出合計	0	0
当期収支差額	△ 4,739,382	△ 10,232,275
前期繰越収支差額 (2003, 2004)	9,149,057	4,409,675
次期繰越収支差額 (2005, 2006)	4,409,675	△ 5,822,600

収支計算書

2005年1月1日から2005年12月31日まで

第三特別会計

(単位：円)

科目	前年度決算額	決算額
【経常収入の部】		
事業収入	[26,158,900]	[9,070,010]
企画商品	26,158,900	9,070,010
雑収入	[0]	[300]
代引き手数料		300
経常収入合計	26,158,900	9,070,310
【経常支出の部】		
事業費	[22,657,940]	[7,171,160]
企画商品	22,657,940	7,171,160
管理費	[0]	[1,038,566]
租税公課	0	200
雑費	0	1,417
事務局費	0	1,036,949
経常支出合計	22,657,940	8,209,726
経常収支差額	3,500,960	860,584
【その他資金収入の部】		
その他資金収入合計	0	0
【その他資金支出の部】		
その他資金支出合計	0	0
当期収支差額	3,500,960	860,584
前期繰越収支差額 (2003, 2004)	5,519,684	9,020,644
次期繰越収支差額 (2005, 2006)	9,020,644	9,881,228

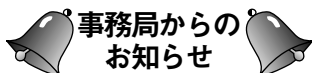
第9回ヘルスケアシンポジウム収支計算書 (2005.3.19 ~ 20)

収入の部	金額	支出の部	金額
会員歯科医師	2,310,000	会場機材設営費	3,720,995
会員スタッフ	1,296,000	広告宣伝費	524,800
非会員歯科医師	448,000	講師謝礼・旅費	2,226,577
非会員スタッフ	30,000	印刷通信事務費	541,903
前夜祭(会員)	718,000	通訳費	249,500
懇親会	216,000	人件費	511,725
法人出展料	540,000	弁当代	1,139,319
19日のみ歯科医師	39,000	交通費	18,980
19日のみスタッフ	64,000	懇親会	511,725
計	5,661,000	計	9,445,524
収支差額	△ 3,784,524		

第10回ヘルスケアシンポジウム収支計算書 (2005.10.1 ~ 2)

収入の部	金額	支出の部	金額
会員歯科医師	1,580,000	会場機材設営費	5,757,217
会員スタッフ	753,000	広告宣伝費	652,600
非会員歯科医師	504,000	講師謝礼・旅費	1,316,655
非会員スタッフ	41,000	印刷通信事務費	370,573
前夜祭(会員)	717,000	人件費	525,062
懇親会	116,000	弁当代	104,317
		交通費	6,770
		懇親会	360,000
計	3,711,000	計	9,093,194
収支差額	△ 5,382,194		

* カリエス検査キット購入代金 450,528 円は含まず



医院紹介(参考資料)の更新のお願い

事務局では、一般の方から研究会会員診療所を紹介して欲しいという依頼を受けます。名簿作成時アンケートで連絡先を回答することに同意された複数の会員診療所を案内していますが、新しい情報に基づいて紹介を行えるよう、各医院が適宜、自院情報を更新できるようにホームページを整えました。

ホームページ「医院紹介(参考資料)」から情報を更新してください。

ただしこの紹介は、常に以下の但し書きをつけて行っておりま

「…情報提供を唯一の目的としており、いわゆる「紹介状」による歯科医師紹介ではありません。したがって、本情報に基づき選択・決定された歯科医院における医療内容を当研究会が保証するものではありません。…歯科医院において十分に相談され、納得された上で治療を始められることをお勧めいたします。」

● 会員登録内容の変更について

住所、電話番号、ファックス番号、e-mail アドレス、準会員等の追加・変更がありましたら、事務局までファックスもしくは e-mail でお知らせください。

Fax: 03-3260-4906

e-mail: center@healthcare.gr.jp

事務局は月曜日から金曜日までの午前9時30分から午後5時30分までスタッフが常駐しています。お電話は時間内をお願いします。

公共機関等が禁煙支援リーフレットを利用しています

以下の機関から問い合わせがあり、頒布しました。

【頒布先】

- 熊本市東保健福祉センター
- 熊本市役所 地域保健福祉課
- 佐賀県歯科医師会 成人産業保健委員会
- 島根県歯科医師会



携帯ホームページをご利用ください

携帯から歯科衛生士用の掲示板に書き込みができます。近日中に会員用ホームページ歯科衛生士の部屋ともリンク予定です。ご利用ください。

QRコード読み取り対応端末からご利用いただけます。(http://www.healthcare.gr.jp/i-health/index.cgi)

※一部の機種によってはホームページが閲覧できない場合があります。



現在の会員の構成(5月15日現在) 会員合計 6,063名

正会員		準会員	
歯科医師	1,985名	歯科衛生士	3,328名
歯科衛生士	215名	歯科技工士	95名
歯科技工士	2名	その他	381名
その他	15名	準会員計	3,804名
学生	1名		
法人会員	41社		
正会員計	2,259名		

ウイステリア Pro とアポイント管理職を使ってみよう！ (その8)

藤木 省三 (神戸市・大西歯科・IT 部会)

4月16日に、新たに選ばれたオピニオンメンバーによる第一回目の会議にて会則の改訂がおこなわれました。23日には新しい認証ミーティングもおこなわれ、いよいよ日本ヘルスケア歯科研究会のセカンドステージが本格的に始まりました。

秋の前夜祭の準備には、会員支援部会を中心として今まで考えられなかったくらい多くの会員が積極的に参加されています。今後のヘルスケアが楽しみです。

前回はメンテナンスに来院されている方のデータについて述べました。今回はう蝕予防の結果について考えてみます。

○データって何のためにあるのだろう

子供たちの歯にむし歯をつくらないようにしてあげたい。私自身が永久歯にむし歯をつくってしまった経験があるため、できることならむし歯で悩むことがない人生を歩んで欲しいと思って子供たちのむし歯予防に力を入れています。診療室での努力の結果、うまくできたのかできていないのかを判断する一つの指標が12歳のDMFTだと思います。

では、診療室における12歳時のDMFTのデータってどういう意味があるのでしょうか？90%以上カリエスフリーを達成している診療室は優れていて、達成していない診療室は劣っているのでしょうか。そんなことを比較するためのデータなのでしょうか。

私は違うと思います。データは一人ひとりの患者さんの結果の蓄積ですが、それを持って診療室の優劣を決めるものではなく、その診療室の改善のため(つまり患者さんのため)に使うものだと思います。その時々で最善を尽くしているように思ってもできていないことがあることはみなさんも感じておられるでしょう。次に何をすればよいのかを考えた時に、データが生きてくるのです。蓄積されたデータをよく読むことが大切です。

ちょっと話が変わりますが、今回の認証ミーティングで「データに振り回されない診療をしたい」との声がありました。歯周治療後の抜歯の本数を少なくするためには保存が危ぶまれる歯をあらかじめ抜いてしまえばいいが、患者さんの気持ちを考えるとそうい

うことはしたくないという意見でした。私も同感です。患者さんの気持ちを大切にしながら長くおつきあいすることこそ、私たちのもっとも大切な仕事だと思っています。だからこそ、データの残し方に工夫が必要なのです。抜歯履歴に「初診時 hopeless」の項目があるのはそのためです。どういう理由で抜歯したのか、現実的な範囲で分けておくことで患者さんに優しい治療をおこないつつ分析ができるようになると思います。データに振り回されるのではなく、データを使ってさらに患者利益を追求できるようなソフト作りを続けていきたいと考えています。

○6歳から12歳までの定期管理の結果

さて、ここからが問題です。6歳と12歳のDMFTがあったとして、何がわかるのでしょうか。その二つの結果と唾液検査を組み合わせることで考察することができますが、今回は6歳から12歳までの6年間の定期管理との関連を見る方法を考えてみました。

う蝕画面のDMFTの「更新」ボタンをクリックすれば、下の各年齢のDMFTの推移を表す表にDMFTの値が入力されます(図1)。



図1 ウイステリア Pro (う蝕画面)

- ・定期管理に来院された場合には必ず「更新」ボタンをクリックする
- ・治療だけの来院の場合は、DMFTの変化があれば更新した上で、下の表の数字を消しておく
- ・6歳と12歳の数字は定期管理にかかわらずDMFTの値を入力する

この条件を診療室内で整えておけば、

- ・6歳と12歳の時のDMFTは記録される
- ・最低1年に1回以上定期管理に来院していれば、下の表にDMFTの値が入力されている

こととなります。ここから、毎年定期管理に来院した子供と不定期な子供との差を見いだすことができるようになります。

今回のウイステリアのバージョンアップで、ファイルメーカー7/8対応版ではこの集計がボタン一つでできるようになりました(図2)。

○大西歯科での結果

現在ウイステリアには約4,800名の名前が登録されています。その全てのデータがきちんとそろっていれば素晴らしいのですが、抜けているところがたくさんあるというのが現状です。その中で、初診時年齢が6歳以下が442名、さらに6歳時のDMFTが入力されているのが222名です。そのうち12歳時のDMFTが記録されているのはちょうど100名でした。子供の6歳臼歯を守ろうと定期管理を始めて15年以上経過しますが、長期的に来院されている子供は結構少ないも

のだな、と思います。とは言っても、現在約140名の小学生以下の子供が予防管理のために来院しています。楽しみは徐々に大きくなっていくようです。

6歳と12歳の時のDMFTが入力されている100名の子供達について、(昔の症例もあるので)カルテを引っ張り出してもう一度確認してみた結果が図3です。

100名のうち、毎年最低一回以上来院されていたのが75名、そのうち6歳時DMFTが「0」だったのが73名です。

現在、神戸市の6年生の平均DMFTは1前後(学校による格差が結構大きいのが現実です)なので、定期的に来院する効果は明らかだと思います。特に6歳臼歯の萌出直後にきちんと来院してもらえるかどうか重要だと感じています。

データだけ見ればカリエスフリーは90%に達していませんが、98%の子供が小窩裂溝の小さなコンポジットレジン充填2個以下だと考えれば、このような診療を全国で行う価値がよくわかると思います。

よいことばかりではありません。定期管理をしていて3本、4本のう蝕を作ってしまった子供がそれぞれ一人ずついます。深い小窩裂溝をまだ大丈夫だと思っているうちに気がついた時には象牙質まで進んでいたケースです。これらのケースを反省して、今では怪しい小窩裂溝はダイアグノデントで診断を行い(昔よりも少し早めに)シーラント処置をおこなうようになりました。データを残していたからこそ次への対応ができるのです。

今回は歯周治療の結果についてまとめたいと思います。

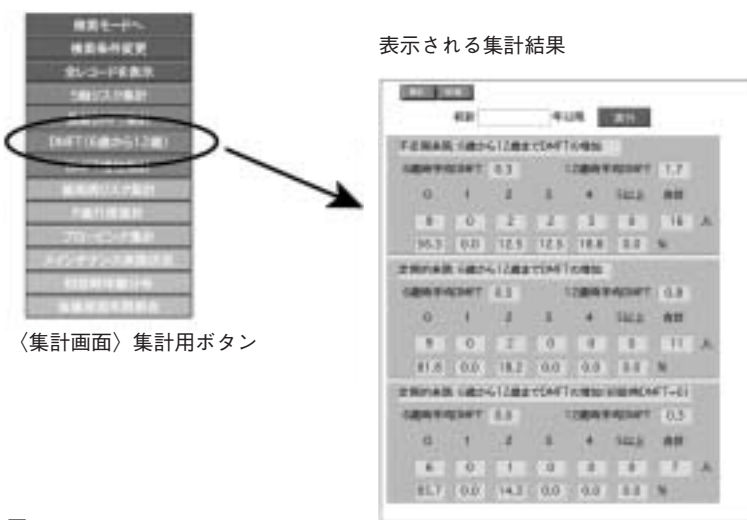


図2

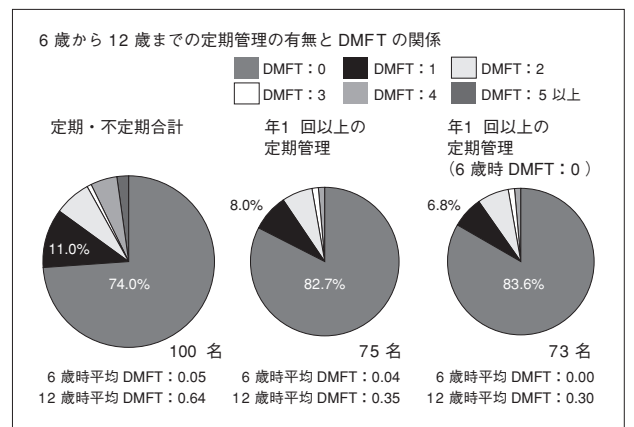


図3 6歳から12歳までの定期管理の有無とDMFTの関係



-----基本的な注意-----

- *ウイステリアなどのファイルの名前を変えないでください
- *バックアップは毎日必ずとりましょう

バックアップが必要なファイル

- 「ウイステリア Photo30/31」
- 「アポイント管理職 2/21」
- 「PerioAssistant2/3」
- 「抜歯履歴 2」
- 「来院履歴 2」
- 「唾液量」
- 「処置履歴」
- 「NewFile フォルダ」(ウイステリアに取り込んだ画像の保存フォルダ)

「健康を守り育てる歯科医療」の普及のために新しい言葉をつくろう！

齊藤 仁（札幌市開業・コアメンバー）

カリエス、ペリオのリスクをコントロールし、健康を守り育てていくためには患者さんと歯科医院の連携が必要になります。定期的な来院、メンテナンスが必要不可欠なわけですが、「修復治療が終了したあと、新たな発症や、再発を未然に防ぐために定期的に歯科を受診し、ホームケアができていますかチェックし、クリーニングやフッ素塗布など予防処置を受け、カリエス、ペリオのリスクをコントロールする」ということを皆さんは何と呼んでいますか？

「定期管理」「定期検診」「メンテナンス」「定期的チェックとクリーニング」「リコール」という言葉は最近あまり使われないでしょうか。

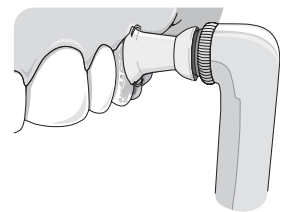
しかし、どの言葉も今ひとつしっくりこないと思いませんか？ 「健康を守り育てる歯科医療」が普及していないため、

それを意味する言葉がないのだと思います。

そこで提案なのですが、日本ヘルスケア歯科研究会会員のアイデアで新しい言葉を作り、国民に普及させませんか？我々歯科医院側も患者さん側も共通の言葉で、「今月は〇〇しに歯医者に行く」「3ヵ月後に〇〇ですね」の“〇〇”に当てはまる言葉をみんなで考えましょう。

事務局宛てにFAX またはメールで思いついたものをどんどん送ってください。特にスタッフの皆さんの斬新なアイデアに期待します。

優秀作品には研究会からすてきなプレゼントがある…かもしれませんよ。



ヘルスケア フォーラム

東京ヘルスケアグループ主催

第1回 診療所づくりミーティング

2006年3月12日（日）

野田哲朗（宇藤歯科医院）

去る3月12日、診療所ミーティングが開催されました。我々宇藤歯科医院からは歯科医師4名、歯科衛生士1名、歯科助手2名で参加させていただきました。

まずは恒例のアイスブレイクより始まりました。毎回いろいろ皆のためにいろいろ考えてくださる渡辺先生には大変頭が下がります。今回のミーティングは午前午後の二部構成で、午前は医院スタッフからの発表を、午後は各医院院長より4月の認証ミーティングに向けての練習会ともいうべき発表が行われ、それについてグループディスカッションを行いました。

☆田中歯科クリニック（安田祥子さん）
通い続けたいくなる歯科医院を目指して
患者さんがメンテナンスに通いやすい医院とは？院内では意見のすり合わせのためにどのような事をしているか？というディスカッションポイントでした。スタッフ面、環境設備面での医院ごとの努力が見られました。

☆丸山歯科医院（浜端和子さん）
“知らないを知っているに変える為に…”
～アシスタント6年目の挑戦～

患者さんを予防の流れに導くために行っていること、コーディネーターの有無、予防の重要性を話す時期等について話し合いました。どの医院でもデンタルや、口腔

内写真、パンフレット、啓蒙ビデオ、健康セミナー等を介して一生懸命予防の重要性を話しているようでした。そしてこの話し合いの中でこんな名言が出ました。「いつでも、どこでも、誰にでも。説いて、説いて、説きまくる」…

- ・河野歯科医院（河野正清さん）
- ・もりや歯科（森谷良行さん）
- ・小林歯科クリニック（小林誠さん）

午後は以上の3先生からの発表がありました。お三方とも4月の認証ミーティングにたいして準備万端で我が宇藤歯科医院も頑張らないか…と思いました。

それぞれ、長く勤めるための条件、メンテナンスに関して、サリバテストの導入状況などについて話し合い発表しました。長く勤める条件に関しては各医院ともかなり突っ込んだ意見が出ていて各

院長たちもたじたじのようでした。

いずれの発表ともとてもよく練られていて、参加者からの意見が出やすいようなディスカッションポイントを用意して

いて、目に見えない努力を感じました。発表者の皆さん、スタッフの皆さん大変勉強になりました。ありがとうございました。

夜の部（懇親会）もいつものことながら大変盛り上がり、東京ヘルスケアグループの結束がますます強まったように思います。



ヘルスケア歯科衛生士会準備委員会 主催

歯科衛生士シンポジウム 報告

2006年4月2日（日）東京ウィメンズプラザ/ホール

長山和枝（正会員歯科衛生士）

去る4月2日、桜が満開の東京・青山で歯科衛生士シンポジウムを行いました。午前中は、メンテナンスがテーマのライド発表、高田さん・多田さんによるケアリングクラウンのご講演&ワーク、小池さんを進行役に公開ディスカッション。そして多田さんのサインダンスを観覧しながらの昼食。午後は“女性”をとりまく社会的立場、仕事における悩み、家事と育児の両立、の3パートが行なわれました。抽選会では参加者の数名が各業者さんからご提供いただいたソニックアークやシステム超音波歯ブラシ、歯磨剤などを手にされました。今回は iPod shuffle を獲得されたお二人からご感想をいただきました。

浜端町子（正会員歯科衛生士）

4月2日、日本ヘルスケア歯科研究会に「新しい風」が吹きました！！ヘルスケア歯科衛生士準備委員会のみなさんによってすべて企画・運営されていました。今までの歯科医師の企画とは違った感じで、楽しく新しい気付きに会えて、気持ち豊かなシンポジウムでした。この日、私が一番ワクワクしたのは、基

調講演の「ケアリングクラウンは心を通わせる」の高田佳子先生の中でのワークです。人としての愛、優しさ、相手に思いやりの気持ちを伝える。相手に意識を集中して、向き合う、見つめあう、相手に見てもらって感激する… など、人と人の心を通わせることができるワークでした。笑いにより、相手との壁も取り除くということは、とても説得力がありました。機会があったら、是非皆さんにも体験していただきたい、そして感じてほしいと思いました。

今回、企画してくださった準備委員会の方は、とても大変だったことと思います。運営に携わった方々にも感謝いたします。楽しい時間をありがとうございました。

井上 和（洋一歯科医院）

歯科医師の手が離れ、衛生士独自で会を企画したとたんこの有様とは、あまりに情けないと思った。学園祭レベルの稚拙な会だった。パネラーとして壇上に上がった準備委員たちが進行役に、今回のテーマ「セルフプロデュース」について問われても誰一人答えず「〇〇さんが言い出したので」などと言い始める始末。まずセルフプロデュースが必要なのは、



準備委員としての自覚が乏しい本人たちではないのか。午後は立ったまま聴講するというセッティングにもあきれられる。準備委員の失言と暴言に腹立たしい思いが印象的な一日だった。歯科医師の手を離し、このような完成度の低い会を催されるよりも、たとえ助けを借りていても、まともな会に出席したい。

対照的な二人の感想からも伝わるように参加者の視点が違えば「感じる・考える」ものが違ってきます。私たちは常に患者の立場で考えられる人間、そして多くの方のご意見を受け止めながら自己成長していける人間でありたいと考えています。初めての企画・準備・運営・開催で不手際もありましたが、今回勉強させていただいたことを反省材料に今後も頑張りたいと思います。未熟者ですがご指導よろしく願いいたします。参加してくださった皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。今後も一緒に衛生士活動を盛り立ててください。



ヘルスケア歯科衛生士会準備委員会スタッフ募集

歯科衛生士会準備委員会として協力できる正会員歯科衛生士を募集しています。（準会員歯科衛生士で正会員登録を考えている方も可）右のアドレスにお問い合わせ下さい。

長山和枝 E-mail : krn@msg.biglobe.ne.jp
長岐祐子 E-mail : ken-01@cna.ne.jp

院内のネットワーク

小口道生

(会員・長野県諏訪郡開業・さつき歯科医院)

当院は「地域住民の口腔の健康を守り育てる」を診療理念に掲げて、2005年5月に開院しました。近年の歯科事情においては医院開設の際にはパソコン（以下PC）の導入はごく自然の成り行きです。私自身はPCに精通していませんが仕事の効率上PCで出来る業務はできるだけPCで行いたいと考えました。しかし、院内LANを構築するにあたりPCのトラブル等が自分自身のストレスになっては困りますので、専門家（業者）まかせのPC管理で最大限の効果を期待するシステムを目指しました。結果として、モリタ社のコンピュータシステムを導入しました。

当院では図の通り6台のPCで有線LANを組んでいますが、PCの設置やデータの自動バックアップ、停電対策等についてはモリタの担当の方に一任しました。PCを利用した業務及びソフトは、表1の通りです。（口腔内写真やデータ管理等の有用性は、これまで多くの方が説かれていますので、本稿では割愛します）

トラブル回避の点から外部接続は行わず、インターネットや各種資料の作成等はLANから分離した私用のノートパソコンを用いて行っています。

また、各診療室のPCのモニターにはRGB端末が付属しているため、チェアサイドのモニターでDVD鑑賞と位相差顕微鏡の使用が可能です。DVDは分配機を介して各チェアのPCで同時にみられる設定になっています。内容として、虫歯と歯周病の予防に関する情報のほか、親や兄弟の診療で待機中の子供向けのアニメ等を流しています。位相差顕微鏡はそのつど必要なモニター（患者さんのいる部屋のモニター）に接続しています。キャスト一式を用いたのは、患者さんがチェアに座ったまま画像が見られることと、アポイント画面等で他の患者さんの情報を保護すべき場合に患者さんから見えない位置に移動できることが主な理由です。

ソフトの仕様についてはカタログ等をご参照いただきたいのですが、今のところ当初私が予定していたPC機能は概ね網羅されています。課題をあげますと、口腔内写真の複数枚同時ディスプレイが出来ないことがあります。比較したい画像を一枚ごと探して拡大して対処してい



さつき歯科医院全景

ますが、いずれ画像管理ソフト等を導入したいと考えています。開院して1年しか経過していないため、数年経過すると更に課題が出てくるかもしれません。この分野に関しては日進月歩で今後も次々と新しいツールが発表されることと思います。時代の流れに対応しつつ、院内LANの機能をバージョンアップさせていくことが最重要課題かもしれません。



LANで活用中のPC機能	
機能	使用ソフト（全てモリタ）
・レセプト	DOC5J
・電子カルテ	DOC5J
・会計業務	DOC5J
・アポイント	DOC5J
・患者データ管理	オーラルフロンティア
・X線（デンタル・パノラマ）	スキャンX、i-view
・口腔内写真	i-view、オーラルインフォーム
・疾患の説明アニメーション	オーラルインフォーム
クライアントのモニターを利用したツール	
・DVD（予防関連DVD、子供用アニメ等）	
・位相差顕微鏡	

表1



院内見取図



DVD 分配機と X 線画像サーバー



チェアサイド



コアメンバー会議報告 7

開催日：2006年2月26日（日）午前10時～午後4時30分

会場：東京国際フォーラム G404

出席者：足本 敦、伊藤 中、河野正清、国井一好、斉藤 仁、藤木省三、杉山精一

進行：藤木省三

事務局：秋元

1 歯科衛生士コース

基礎コースについて、当初の4月開始、定員40名、最低25名、7回コースという予定は、参加者合計15名という状況から採算割れで取り消し。東京で連続2日間×3回、合計6回コースと組み直し、地方の参加希望者も通いやすく設定して再募集。

会場については、埼玉県立短期大学で話を進めている。人数については、20名で採算がなんとかとれる。会場が見つからない場合は14名ぐらいなら河野歯科医院で実施する。カメラやミラーといった機材については、必要なものなので参加者各自で購入してもらう。しかし、貸してもらえるところがあれば、個別に斡旋という形で、便宜を図るようにしたい。持って来てもらえる人には、持って来てもらう。

2 中国、四国スタッフミーティング

ヘルスケア研究会の事業としてではないが、9月17日岡山のロイヤルホテルで中国、四国のヘルスケア研究会会員を対象とした診療所スタッフミーティングを企画している。発起人は倉敷の太田さんと岡山市の木村さん、香川の浪越さんと足本さんの4名。事務局はワイエデンタルクリニック内に設置。参加者は予定の150名を超えそうだ。

3 健康手帳

前回のコアメンバー会議で提出したものをベースに最終案をだす。子供用については、藤木さんが作られたものをかなりそぎ落とし、絵を入れたものにする。バインダーの費用は1冊105円ぐらい。1万部ぐらい刷らないとコストは安くならないが、在庫はなるべくかかえないようにする。中身の印刷をあわせて160円ぐらいで作って、事務局経費を考え、送料込みの200円ぐらいで販売する。本当は販売価格を100円にしたいが、梱包等をいれると200円を切るのはかなり厳しい。しかし、それ以上にはしない。

4 先進医療届出

保険に収載するような新規医療技術を中央社会保険医療協議会が募集したところ619件の応募があり、そのうち歯科医学会からの応募はたったの1件だった。

新しい医療技術の保険導入へのプロセスは、ある医療技術をまず、今回新たに作られた「必ずしも高度でない」先進医療で混合診療として認め、数年経って条件をクリアしていれば、保険に入れる、という流れになった。このことから当面の保険収載は難しいが、「カリエスリスクコントロール療法」に関して申請を出しておくべきだ。今は混合診療になるが、今ちゃんと手続きを踏んでおく。そのため河

野歯科医院の協力を得たい。申請をしてから、3ヶ月以内に回答が出る。

提出するだけでも、歯科がちゃんとやっていることをアピールできる。今回は、検査キットなどに薬事の許可が下りていることもあり、全く問題ない。問題があるとすれば、普通は大学や学会が一緒になって学者何十人かで申請しているものが、何故一診療所だけで申請するのか、という違和感だけだ。この申請をすることによって、歯科医学会への問題提起にもなる。

5 基礎コース

基本となる概念がしっかりとしていれば、診療室によってヴァリエーションがあっても良いのではないか。また、どうやって予防歯科中心の医療をやり始めたのか、語っても良いと思う。利益が目的ではないので参加費は安く設定する。

6 歯科衛生士シンポジウム

4月2日歯科衛生士シンポジウムの現在（2月26日）参加申込者は47名。午前はシンポジウムの中で伝えたいことをまとめていく。目的は「考える歯科衛生士」。オープニングセレモニーは、多田さんの手話ダンスからスタート。シンポジウムの主旨を伝え、歯科衛生士から社会貢献できる内容として「定期クリーニングへいこうよ」の発表。基調講演は高田さんから「ケアリングクラウン」。この内容をベースに公開デスカッションを行い考える歯科衛生士へと結びつけ、第一部終了。

第二部のテーマは夢と絶望。「仕事と女性」から時代背景、「歯科衛生士の悩み」から歯科衛生士の現状を実感してもらう。

第三部のテーマは絶望から希望・展望。「仕事と子育て」からパフォーマンスを交え、ワークショップを終了。最終的には、何事も答えは自分で見つけるもの。自分で考える力がもて、初めて相手の、患者さんの健康や幸せを考え願うことができると気が付くシンポジウムにする。

7 禁煙支援調査

禁煙支援を行っている歯科医院における実施状況を把握して今後の効率的な禁煙支援の方法を確立することを目的として調査を行う。具体的には、各歯科医院での禁煙支援の実態を調査し、把握した禁煙達成患者に対してアンケート調査を行い、禁煙達成実績としてまとめる。その結果は、今年の5月31日の禁煙デーを目標に報告書にしてとりまとめて公開、研究会以外にも公開する。関連のワークショップの開催も検討。また、ニコチン依存のメカニズムと

日本ヘルスケア歯科研究会コアメンバー会議

行動変容についての勉強会も開催したい。

8 ウィステリアの6点法対応

ウィステリアのペリオアシスタントの部分について、4月から診療報酬のフローピング検査算定要件が6点法になるので、6点法にしたバージョンアップを行う。これについては会員にアナウンスし、ゴールデンウィークに入る4月末日には販売開始とする。また、この新しいウィステリアでは、今までの4点法のデータと整合性がとれるような工夫もする。フローピング値の変化は、従来どおり4点法でも評価できるようにし、6点法でも対応できるようにする。

9 秋のシンポジウム

【内容について】

- ・データを基に考える。結果を出して効果があがっているのかを検討する。若年者と成人、高齢者までの管理データを

集め、結果を出す。

- ・患者のDMFTだけでなくQOLも評価点に加えるべきではないか。費用効果についても出すべきだ。
- ・次回のコア会議では、こういう調査をしたいという具体的な提案を用意する。
- ・現場では（予防歯科の）効果を実感しているが、それだけでは事情を知らない人には説得力がない。

【前夜祭】

- ・前夜祭の内容等は、コアメンバー会議から会員支援部に依頼する。

10 新認証制度

11 オピニオンメンバー会議

コアメンバー会議報告 8

開催日：2006年4月16日（日）午前10時～午後12時

会場：東京国際フォーラム G610

出席者：足本 敦、伊藤 中、河野正清、国井一好、斉藤 仁、藤木省三、杉山精一

進行：藤木省三

事務局：秋元

内容

オピニオン会議打ち合わせ

報告

秋のシンポジウムの進捗状況報告

歯科衛生士セミナー関連

基礎コース

ウィステリア、バージョンアップ

健康手帳などについて協議

議題

認証基準

※詳細はオピニオンメンバー会議報告ならびにホームページのオピニオンメンバー会議議事録をご参照ください。

コアメンバー会議 予定

6月のコアメンバー会議

日時：2006年6月11日（日）

午前10時～午後4時30分

会場：文京シビックセンター（東京・文京区）

地下2階研修室A

<http://www.city.bunkyo.lg.jp/shisetsu/civic/>

定期管理にはどのような臨床データが必要か、など（問題提起 杉山精一）

※会議の傍聴は無料です



《ウステリア Pro》バージョンアップのご案内

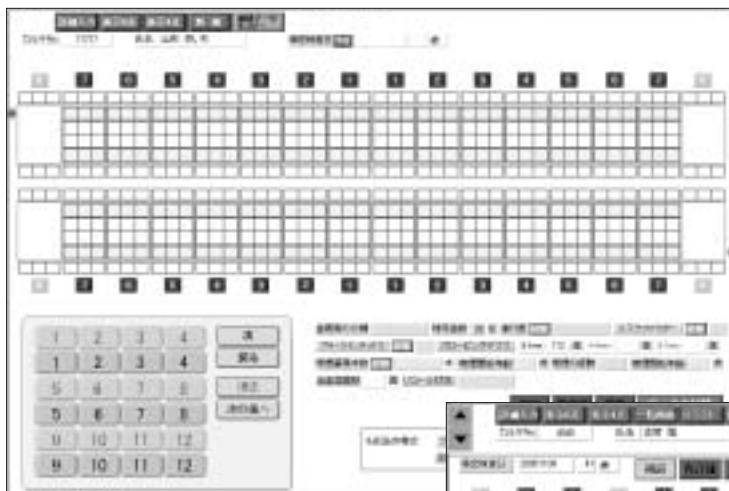
プロービング値の入力・表示 (PerioAssistant の詳細入力) が 1 歯 6 点に変わります。プロービング値 (盲嚢測定値) は、本来ウォーキングストロークにて測定した値を 1 歯あたり 4 点または 6 点で記録するもので、6 点法の記録が必ずしも精密になるわけではありませんが、保険診療のとりきめに対応して、入力を 6 点法に変更しました。(今までの 4 点法のデータとの整合性を保つため、ウステリアの集計は 6 点

から深い 4 点を選んで集計します。)

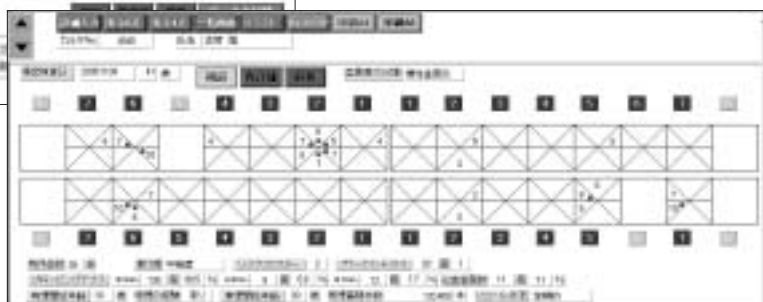
また、今回の歯科診療報酬改訂において、患者に対し行った病状、治療計画、指導内容等を文書により患者に提供することが算定要件と加わりました。従来からウステリアのプリントアウトは患者さんへの情報提供に使われていましたが、健康手帳のバインダーサイズ (A6 判) にあわせた印刷ページを追加しました。

○ 主なバージョンアップ内容 《ウステリア Pro3.1.1》ファイルメーカー 7/8 対応版

- ・ PerioAssistant の詳細入力が 1 歯 6 点に変更
- ・ 集計画面に「DMFT (6 歳から 12 歳まで)」の集計が追加、定期的来院と不定期来院の DMFT の増加比較が可能
- ・ 印刷ページ追加「歯周疾患指導管理 説明書」「表示画面 6 点法」「お口の健康状態」
- ・ アポイント管理職とウステリアの連携がさらに便利に、ウステリアのどの画面からでもアポイント管理職に移動可能
- ・ windows 版でのチャート印刷可能
- ・ 郵便番号簿を更新



詳細入力画面
6 点の入力が可能です。



表示画面 6 点
6 点で入力したプロービング値を表示

○ 4 点での集計方法

- ・ 6 点で入力した隣接面の 2 点のうち深い 1 点を採用します。また出血歯面数は、隣接面のうち、どちらかに出血が認められる場合は、「1」とカウントします。隣接面どちらにも出血が認められる場合も「1」とカウントします。



○ DMFT (6歳から12歳まで) 集計

- ・このデータを比較することで、(少なくとも一年に1回以上来院している) 定期的来院の効果を知ることができます。(14ページの「ウイステリア Pro とアポイント管理職を使ってみよう」で紹介されています。ご参照ください)

不定期来院: 6歳から12歳までDMFTの増加							
6歳時平均DMFT		7歳時平均DMFT		8歳時平均DMFT		12歳時平均DMFT	
0	1	2	3	4	5以上	合計	
4	0	2	2	3	0	11	A
92.7	0.0	45.5	11.5	68.2	0.0	94	

定期来院: 6歳から12歳までDMFTの増加							
6歳時平均DMFT		7歳時平均DMFT		8歳時平均DMFT		12歳時平均DMFT	
0	1	2	3	4	5以上	合計	
4	0	2	0	0	0	16	A
92.8	0.0	90.2	0.0	0.0	0.0	94	

定期来院: 6歳から12歳までDMFTの増加 (初診時 DMFT=0)							
6歳時平均DMFT		7歳時平均DMFT		8歳時平均DMFT		12歳時平均DMFT	
0	1	2	3	4	5以上	合計	
4	0	1	0	0	0	5	A
92.7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	94	

不定期来院：6歳から12歳まで DMFT の増加
DMFT6 と DMFT12 の二つのフィールドにデータが入っている全ての患者のデータが表示されます。

定期来院：6歳から12歳まで DMFT の増加
DMFT6 から DMFT12 までの全てのフィールドにデータが入っている患者のデータが表示されます。

定期来院：6歳から12歳まで DMFT の増加 (初診時 DMFT=0)
DMFT6 から DMFT12 までの全てのフィールドにデータが入っている患者のうち、DMFT6 が「0」の患者のみのデータが表示されます。

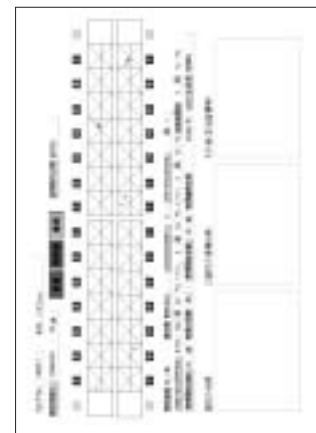
○ 印刷ページ追加

- ・「歯科口腔衛生指導, 歯科衛生実地指導」「歯周疾患指導管理」に活用できる説明文書が A6 サイズで印刷できます。「健康手帳」に同じ込むこともできます。



「健康手帳」ページを印刷できる編集画面
《ウイステリア Pro》に取り込んだ画像を選べます。

- ・PerioAssistant の《イラスト画面》《表示 6 点画面》に印刷ボタンが追加されました。A4 サイズと A6 サイズの印刷がボタンひとつで可能です。(あらかじめお手持ちのプリンタに設定をする必要があります)



コメント欄に書き加えて患者さんに渡すことができます。

○ Windows 版《ウイステリア Pro3.1》チャート印刷対応について

《ウイステリア Pro3.1》Windows 版はチャートの印刷ができない仕様になっていました。今回のバージョンアップより、修正され印刷が可能になりました。

すでに《ウイステリア Pro3.1》ご購入済みのユーザーで、今回のバージョンアップ版を購入されない方につきましては、無償で修正ファイルをお送りいたします。

修正ファイルのみをご希望の方は、事務局まで Fax または E-mail でお申し込みください。

○ アポイント管理職対応について

アポイント管理職 2.0 および 2.1 はそのままご使用いただけます。《ウイステリア Pro》をバージョンアップされる場合は、《ウイステリア Pro》のみコンバートが必要になります。詳細は製品に添付のマニュアルをご参照下さい。今回のバージョンアップ時にアポイント管理職を新規でお申込みされる場合には、事務局までお問い合わせください。

○ ファイルメーカー 5-6 版対応について《ウイステリア Pro3.0.2》

ファイルメーカー Pro5-6 対応の《ウイステリア Pro3.0》はすでに開発を終了していますが、今回の PerioAssistant バージョンアップ (6 点法入力) に限り対応します。その他の機能のバージョンアップはありません。ご了承ください。すでに《ウイステリア》をご購入済みのユーザーに限ります。新規販売はございません。

頒布価格：ウイステリア Pro3.1.1 新規 50,000 円

バージョンアップユーザーは別途価格設定しています。事務局までお問い合わせください。お申し込み・お問い合わせは、fax または e-mail で事務局までお送りください。



その他催しもの 案内

第 1 回 中国四国スタッフミーティング

世話人：太田隆温，木村秀仁，浪越建男，足本 敦

記念すべき第 1 回にふさわしく藤本省三先生に日本ヘルスケア歯科研究会の目指すもの、そして会のメンバー診療室として何をするのか…といったテーマで、スタッフの方々にも分かりやすいお話をさせていただけることになっています。ほかにもプレゼンテーション、懇親会など予定しております。

日 時：2006 年 9 月 17 日 (日) ※翌日は敬老の日で連休
9:45 a.m. ~ 5:00 p.m. (予定) ※その後懇親会を予定
場 所：岡山ロイヤルホテル (岡山市) (予定)
岡山市絵図町 2-4 TEL. 086-255-1111
会 費：歯科医師 10,000 円 スタッフ 5,000 円
懇親会費：すべての職種 3,500 円
事務局：米子市両三柳 107 ワイエイオーラルヘルスセンター
担 当：足本 (あしもと) TEL. 0859-37-6886 FAX. 0859-37-6887

東京 HCG 主催 第 2 回スタッフミーティング

担当責任者：山田美穂，北原あゆみ，米山吉洋，藪下雅樹

東京ヘルスケアグループ主催の、第 2 回スタッフミーティングを開催いたします。「コミュニケーション」流行りの今日この頃。对患者さんとのコミュニケーションは数多く取り上げられ、皆さんも色々工夫されていることと思います。でも…ちょっと待ってください？

対スタッフ、対院長…つまり院内ではどうでしょうか？ 意外に院内のコミュニケーションに悩む医院さん、実は少なくないのでは？ヘルスケア型の診療システムを構築して行く上で、院内のコミュニケーションがしっかりと取れている事は最も基本的なことであり、最も大切なことでもあります。そこで今回のテーマは『院内コミュニケーションを考える』です。

午前中は 2 つの医院より事例発表があり、各発表の後でスモールグループディスカッションを予定しています。

午後はコミュニケーション技法における「気づき」を得られるようなロールプレイングを行ったり、最後には各医院ごとで「より良い

診療所づくり」のためのディスカッションやワークを楽しく出来るような企画を考えております。

今回は医院ごとのワークが組まれているため、参加医院は院長を含め 3 名以上での参加をお願いしたいと思います。医院全体のモチベーションアップ、一致団結のためにみんなで参加してみませんか？ お待ちしております！！

日 時：2006 年 7 月 2 日 (日) 10:00 a.m. ~ 4:30 p.m. (予定)
会 場：飯田橋レインボービル 7F 大会議室 (東京・飯田橋)
JR 飯田橋駅下車徒歩 5 分
TEL 03-3260-4791 <http://www.ienohikariss.co.jp/bld/>

定 員：120 名

参加費：8,000 円 (昼食込み)

申し込み方法：お名前、フリガナ、職種、経験年数、歯科医院名、連絡先の郵便番号、住所、TEL/FAX を明記のうえ、藪下雅樹 (yabutm@plum.ocn.ne.jp) または FAX (まさき歯科医院、047-478-9081) まで連絡ください。

※院長を含め、3 名以上でご参加ください。

ヘルスケアミーティング 2006 1 日目

2006年11月18日(土) 砂防会館別館(東京・平河町)

2006年11月19日(日)

2 日目 I シンポジウム「私たちは日本の歯科疾患の疾病構造を変えることができるのか? その戦略を考える」



今回のヘルスケアミーティングでは、「スタッフの為に!」をキーワードに会員支援部会総出で取り組みを行います。さまざまな企画を用意しましたので、シンポジウム共々出席お待ちしております。なお、プログラムによっては事前申し込みが必要なものもあります。協力者が行う詳細なプログラム等は次号のニュースレターに掲載予定です。

会員支援部会 渡辺 勝

1 『来院者と協働作業で健康を守り育てるために大切なコミュニケーショントレーニング』

担当: 会員支援部会 阿部 恵

現代は『個性の時代』といわれ、人々の価値観はさまざま様々です。人々は自分自身が満たされると感じる心豊かな毎日を探求しています。「心豊かな毎日を実現するために、健康でありたい」という思いに裏付けられて、現代は『健康ブーム』ともいわれています。こんな時代にあって、健康診断のために定期的に歯科医院を訪れる人は3割弱です。約7割の人々が困らなければ歯科医院には行かないという統計がでています。

多くの人々は、「心豊かに過ごしたい」と願う思いと、「歯医者には困った時だけ行くところ」という常識の間に、とても大きなギャップがあることに気づいていません。口腔の健康は全身の健康のベースであり、全身の健康は心豊かな毎日の資源であ

ることに気づき、自分の望む毎日を本当に実現したいと願えば、つまり目標が定めれば、その目標を達成する手段として、定期的な歯科健診をしっかりと受けようと考え行動できるものです。

今、私たちデンタルスタッフには、困りごとを抱えて来院された方が、生涯を通じて心豊かな毎日を実現するためのパートナーとなる資質を求められています。歯科専門知識や技術とともに、口腔の健康を守り育てるコーチ&サポーターとしてのコミュニケーション能力を身につけましょう。

指導者としてではなくパートナーとして来院者を支えるスタンスについて、求められるコミュニケーションテクニックについて、一緒に考えてみませんか?

ご参加、心からお待ちしております。

※コ・デンタルスタッフ(歯科医師以外)限定
※定員 80名 要予約

2 「禁煙支援のススメ」ミニシンポジウム(仮)

企画担当者: 会員支援部会 奥富恵美子 高木景子 渡辺 勝
外来講師: 禁煙マラソン事務局長 三浦秀史

※詳細は次号のニュースレターに掲載します

3 「ハンズオンセミナー」(仮)

企画担当者: 会員支援部会 森谷良行
協力: 笠島さん 金尾さん 丸山さん 三辺さん 鈴木(正)さん

さまざまな歯科医院の先生方やスタッフの皆さんが、臨床上疑問思っていることや、悩んでいることなどを、どのような対策を立てて解決してきたかをハンズオンセミナー形式で開催します。

こんな質問をすると恥ずかしいかと思っていたり、聞きたいのだけれども声をかけずらかったりすることはあると思います。少人数で直接接することで、このような高い敷居を取り除いていくことができるまたとないチャンスです。

会員支援部会を中心とした各歯科医院の方々が、さまざまなテ

ーマで約1時間の発表や実習を行います。発表者や参加者同士で意見をぶつけてみませんか? 発表者はありのままの臨床実態を答えてくださると思います。また、発表者の方々も診療所の発展が完成しているとは思っていません。今現在もさまざまな疑問を解決すべく試行錯誤を行っている最中の方々ですので、参加者からの良きアドバイスがありましたらぜひ、お声がけください。皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

【アイデア募集】

こんなことをして欲しい、こんなセミナーなら参加してみたい、というアイデアを募集します。ヘルスケア型診療室作りに必要なスキルを私達会員支援部会で出来るだけサポートしたいと思います。ぜひ、皆さんのアイデアをお寄せください。

4 「メンテナンスのかんどころ」(仮)

企画担当者: 会員支援部会 山口将日
協力: 景山歯科医院 景山正登

今回のシンポジウムのメインテーマは「メンテナンスのアウトカム評価」です。メンテナンスが大事、効果がある!と言われて講演を聴いていても、「いまいち自分の臨床とリンクしない」、「講師が話していることばの意味がわからない」そんな経験をもったことありませんか? そこでシンポジウムの内容をより理解を深めるために『メンテナンスのかんどころ』(仮)

と題して、前夜祭で企画を行います。

メンテナンスで実際に効果をあげられている景山正登さんにご協力いただき、『楽しく・わかりやすく・ためになる?』企画になるよう現在計画中です。詳細については、またご報告いたします。どうぞよろしくお願い致します。

また、メンテナンスに関してこんなことが疑問! などがありましたら事務局まで連絡ください。出来るだけ皆さんの希望に沿うように企画したいと考えていますので、ご協力よろしくお願いたします。

5 「医院作り 難問解決へのヒント」(仮)

企画担当者：会員支援部会 田中正大
 協力：太田さん 鈴木(勝) 領木さん 米谷さん 菊地さん 古仙さん

ヘルスケア型歯科診療室を作っていくうえでぶつかるいくつもの壁の一つに、歯科衛生士の不足があります。そもそも、広告しても応募がない。採用出来ない。せっかく採用しても、勤務しても結婚や妊娠、子育てなどで仕事を続けることが困難になってしまうことも珍しくありません。前夜祭では、多くの歯

科医院で悩みの種になっている、歯科衛生士の採用、雇用継続、産休、育休などの問題について様々な角度から考えてみたいと思います。また、ヘルスケア型診療室においては、院長だけ、スタッフだけが頑張ってもうまくいきません。スタッフを一つのチームとしてまとめ上げ、チームのベクトルを同じ方向にそろえていかなければなりません。この点から、院長のリーダーシップ、院内コミュニケーション、院内活性化法、スタッフ主導型の医院作りなどについて考えてみたいと思います。

6 「できる人材が集まる予防中心の歯科医院の創り方」

企画担当者：成田信一 藪下雅樹
 協力：石田 淳さん(ウィルPM) 寄田幸司さん

「人の問題ってなかなか解決できないな」
 「なんか、良い方法ないのかな？」
 なんて一度や二度は院長なら誰でも考えたはずです。
 歯科業界の枠を外すと実は解決策があったんです。

人材の採用・教育・マネジメントについて、歯科という範囲に囚われず、実際に効果を上げている方法や考え方必要なコストなど、これまでの常識では解決できなかった人材への不安を一掃するソリューションセミナーです。

自分に解決できない問題は絶対に起こりません。もし起こっていても自分の問題だと気づきません。現場で起こっている問題は必ず解決できます。人にまつわる問題の解決策を2部構成で提案していききたいと思います。

まず第1部では採用・教育・マネジメントに分けてそれぞれ

のソリューションを提案していきます。

人材の問題は慢性疾患と同じように解決できないと、良い人材を採用することを諦めていませんか？

まず採用では、成田が採用を成功に結びつける考え方、具体的な方法論を歯科医院および異業種での成功例を交えてお伝えします。次に、教育では新卒が短期間で一人前になる画期的な方法と歯科医院でも応用できる方法をウィルPM(パフォーマンスマネジメント)代表取締役の石田 淳さんからお話しいただきます。最後に医院マネジメントの実践例を、東大阪市のヨリタ歯科クリニックの院長でワクワク楽しい歯科医院実践会を主宰されている寄田幸司さんからお話しいただきます。

その後、シンポジウム形式で、会場からの質問も踏まえて、深く人材について掘り下げる予定です。

医院のマネジメントに悩まれている院長先生・スタッフの方、この講演を聞かないときと後悔することになると思います。ぜひ、3人の講演者の著作をお読みになってから参加してください。そうすればもっと深い内容を引き出すことができます。

7 懇親会のお誘い

会員支援部会 鈴木正臣

ヘルスケア型診療室を作っていくと、さまざまな悩み、疑問にぶつかることがあります。そんな時に、気軽に相談できる仲間がいると助かるとは思いませんか？ 今回の懇親会では、「地元での仲間作り」をテーマに企画したいと思います。具体的には、

地域別に席を設け、各地域毎の交流を深め、シンポジウム終了後も継続したお付き合いを続けられるような仲間を見つけられるようにしていこうと思います。同じ志を持った仲間が集まることが出来るまたとないチャンスです。アルコールの力を借りて親しい友人を一人でも多く増やしてみませんか？ 皆さんと楽しい時間を共有できることを楽しみにしています。

【1日目】

タイムテーブル	会場 A		会場 B		会場 C		
	9:30 a.m.~	来院者と協働作業で健康を守り育てるために大切なコミュニケーショントレーニング 【企画責任者】会員支援部会 阿部恵 協力者：河野歯科医院 川嶋紀子 しんろう歯科医院 スタッフ ※コ・デンタルスタッフ限定 定員 80名 事前予約要	「禁煙支援のススメ」 【担当者】会員支援部会 奥富恵美子 葛木景子 渡辺勝 外来講師：禁煙マラソン事務局長 三浦秀史	10:00 a.m.~ ハンズオンセミナー (仮) 【企画責任者】会員支援部会 森谷良行 協力者(予定) ヘルスケア型診療室作りのコツ(仮) 埼玉県開業 鈴木歯科医院 小児歯科よろず相談窓口(仮) 和歌山県開業 金尾歯科医院 企画性のある口腔内写真撮影のコツ(仮) 東京都開業 笠島歯科 ウィステリア何でも相談(仮) 兵庫県開業 大西歯科医院 IT部会 その他 丸山歯科医院 文教通り歯科クリニック	1	2	3
	休 憩						
	1:30 p.m.~	メインテナンスのかんどころ (仮) 【企画責任者】会員支援部会 山口將日 協力者：東京都開業 景山正登	「医院作り 難問解決へのヒント」(仮) 【企画責任者】会員支援部会 田中正大 協力者(予定) 「スタッフ主導型の医院作り」 大阪府開業 りょうき歯科クリニック 「スタートは院長のリーダーシップ→その後はスタッフのパワー」 福島県開業 白河みなみ歯科クリニック 「歯科医院における「カ」の壁！」 東京都開業 フルセン歯科 「小規模医院でのヘルスケアあれこれ」 千葉県開業 米谷歯科 「演題未定」 岡山県開業 太田歯科医院 静岡県開業 菊地歯科	できる人材が集まる予防中心の歯科医院の創り方 【企画責任者】会員支援部会 成田信一 藪下雅樹 座長 藪下雅樹 講演者(予定) 自由が丘歯科クリニック院長 成田信一 ウィルPM(パフォーマンスマネジメント) 代表取締役 石田淳 ヨリタ歯科クリニック院長 寄田幸司	4	5	6
6:30 p.m.~	懇親会 地元の仲間作り 交流を深めよう！ 【企画責任者】会員支援部会 鈴木正臣						

※時間は予定です

ヘルスケアミーティング 2006

2006年11月19日(日) 2日目 II



～もうひとつの進歩ジウム～ 『脳力&能力トレーニング・進歩大会!』

【趣旨】

1. チームワーク作りのきっかけ・ヒントに役立てる.
2. スタッフの診療からだけでは知られない良い要素を引き出していく.
3. 自由な発想を持ち・戦力を考える力を養う (思考回路のトレーニング)

一般常識から歯科医療の最新情報・文献・データをクイズ形式で出題していきます. 参加者(グループ・医院ごと)にはスピーディで正確な答え・自由な発想で考えていく, 脳力&能力トレーニング大会です.

【人数】100～200名 (20～40組のグループ編成をします)

【時間】午前中を予選大会/午後を決勝戦 (10組からベスト3組を決定)

【内容】クイズ (出題内容)

予選時はやや簡単でヤングからシニアまでが答えられるような幅広い問題です.

決勝では知識の習得も出来るように著名な先生から出題と解説のビデオを収録させていただき当日会場で放映する予定です.

決勝大会では, 出場者の他に予選落ちした人も観客として参加できるようにし, 復活チャレンジタイムも設けていきます.

【参加申し込み】

一人からでも可能 (こちらでグループ編成します)

仲良しグループ・スタディーグループ・医院ごとでの申し込み大歓迎

【2日目】

	会場 A・B	会場 C
タイムテーブル	9:30 a.m.～ 総会	
	10:00 a.m.～ シンポジウム I 「私たちは日本の歯科疾患の疾病構造を変えることができるのか? その戦略を考える」	シンポジウム II 第2回ベアミーティング ～もうひとつの進歩ジウム～ 『脳力 & 能力トレーニング・進歩大会!』 (ヘルスケア歯科衛生士会準備会主催)

その他催しもの 案内

LB 会のお知らせ

基本的には症例検討会. 症例が無くとも参加可能.

他の方に聞いてみたいことがある方, 話したいことがある方, なんとなく興味を持ってくださった方, お気軽にご参加ください. シャーピングやスライド撮影など, 実習も可能です. 職種も問いません. いろんな視点からの情報交換を楽しみましょう.

日 時 : 2006年 6月 18日 (日)
10:00 a.m.～ 5:00 p.m. (途中入退場自由)

場 所 : わたなべ歯科 (春日部駅徒歩5分)
お助け講師 豊島義博 (第一生命日比谷診療所歯科)

参加資格 : 楽しく学びあいたい方

参加費 : 無料 (差し入れ大歓迎)

申し込み&問い合わせ : krn@msg.biglobe.ne.jp 長山まで. 報告レポートが欲しい方, 参加できないけれど聞きたいことがある方もお問い合わせください.

東京 HCG 主催 第2回ファシリテータートレーニング

担当責任者: 藪下雅樹

コミュニケーション技法の勉強の一環として, 東京ヘルスケアグループ主催の第2回ファシリテータートレーニングを開催します. ファシリテータートレーニングを受けることによって, 对患者さん, 対院長, あるいは対スタッフ, また, スタッフ同士のコミュニケーションが上手に行き, 医院全体としての総合力アップを図ることが目的です.

講師ですが, 一緒にグループワークを経験したことがあり, また, コーチングの分野では, 歯科衛生士としては先駆者の一人である井上和さんにお願ひしました. 参加募集人数は先着30名です. (ドクターでもスタッフでも参加可です)

日 時 : 2006年 6月 11日 (日) 午前10時～ (予定)

場 所 : 川口市民ホール 「フレンジア」
川口市川口1丁目1-1 TEL. 043-227-7603

参加費 : 8,000円, (昼食費別)

申し込み, 連絡先: わたなべ歯科 渡辺勝 nabcdc@myad.jp

読後感

野村英孝（会員・あすなる歯科）

「磨け！DH 輝け！歯科医院」



編集；
河野正清
渡辺隆史
吉田秀人
出版；
デンタルダイ
ヤモンド社
2006年4月
定価6,500円
(税別)

笑い話でも自慢話でもないのですが、2003年に開業してから、当院に就職した13人中10人が今までに去って行きました。さらに3月末に40代のベテラン歯科衛生士が辞めて11人目。どなたが想像しても、とてもピンチであることは分かると思います。そんな私ですが、昨年1冊の本との出会いがきっかけで、残ってくれたスタッフとの関係はとて改善してきていると実感しています。本は私の人生を大きく変えてくれました。

そして4月になって歯科衛生士2名を含め、新人を4人迎え入れました。ちなみに既存のスタッフは私を含め4人。つまり、現スタッフ以上の人数が入社した

のです。当院が直面している重要な問題は、新人を守り育てること。この本のなかで活用しようと思った項目は「歯科衛生士を迎え入れるときに考えること」、そして「歯科衛生士が辞めない理由」の2つでした。さてさて私の話はそれくらいにして。

個々の医院で抱えている問題はさまざま。その規模やスタッフ構成、現在の状況や院長の考え方や方向性によって、個別に抱えている問題は異なっています。1つの医院の中でも、今抱えている問題と3ヵ月後、1年後に抱えている問題は異なっているでしょう。そして、抱えている問題はスタッフ一人ひとりによって異なっています。新人には新人の、中堅には中堅の、ベテランにはベテランのそれぞれの課題を持ち、歯科衛生士には歯科衛生士の、そして歯科医師には歯科医師の課題があります。立場や状況、周囲の環境、そして抱えている患者様の状態に応じて変化してきます。そんな多方面の問題に対応し、1つ1つの問題に対して解答の糸口を見出してくれるのがこの本のよいところ。

すべての回答が得られるとはいいませんが、多くの先生、歯科衛生士、コンサルタントの方々が多方面から気づきとヒントを与えてくれています。歯科医師の思い、歯科衛生士の思い、新人採用に関して、スタッフマネージメント、コミュ

ニケーション、もちろん治療に関してのテクニック、医院の方向性を持つためなどなど。

ヘルスケア型の診療を目指す歯科医院（歯科医師、歯科衛生士、スタッフ）にとって、患者様の健康を支援していくことは当たり前のこと。健康支援のために、歯科衛生士が輝くことは最も大切なことです。そのために1つ1つの問題を放置せず、明確にしていく必要があると考えます。この本の中でも多くの先生方が伝えていますが、現代人の価値観はさまざまです。それは患者様に限らず、歯科衛生士を含めたスタッフ一人ひとり、さらに言えば歯科医師の価値観もさまざまです。

この本から、自分と同じ立場の方の項目を拾い読みし、その考え方に触れ、ヒントを得て、臨床の現場で活用できれば少しは楽になるかもしれません。そして、ちょっと背伸びして周囲の方の意見に耳を傾けることもできるかも。そんな感覚で読んでみるのがお勧め。歯科医師だけではなく、多くの歯科衛生士の方々も一人で問題を抱え込まず、ヘルスケアで行われているスタッフミーティングのように、自分と同じ立場の方々、そして周囲の方々の言葉に触れ、次の臨床のヒントにしてみてもはどうでしょうか？

本とは人の人生を変える存在です。



東京ヘルスケアグループメンバー募集

【東京ヘルスケアグループの設立】

2005年7月に東京ヘルスケアグループは19名のメンバーで設立され、ドクター、スタッフが共に学べるような研修を行って来ました

(活動内容)

- 2005年10月16日 ファシリテータトレーニング
- 2005年10月30日 コーティングセミナー
- 2005年11月6日 スタッフミーティング
- 2006年1月22日 ドライマウス口腔機能療法セミナー
- 2006年2月26日 シャープニングセミナー
- 2006年3月12日 診療所づくりミーティング
- 2006年7月2日 スタッフミーティング

【東京ヘルスケアグループのコンセプト】

東京周辺地域を対象にした、自分の医院の総合力の向上をめざしたスタディーグループです。自分の医院の総合力の向上を計るために、メンバーおよびメンバーのスタッフが集まって自分たちの為に活動を行います。ただし、そこにグループメンバー以外の医院が参加することは妨げず、むしろ歓迎するというコンセプトです。

【メンバー募集】

東京ヘルスケアグループでは新年度を迎えるにあたり、一緒に活動をしていきたいと考えている方に、ぜひメンバーに加わっていただきたいと考えています。さまざまな研修を通じて医院の向上とスタッフの力の向上をめざしませんか？

連絡先：info@asunarooshika.com

(メールにて連絡が出来ない方は入会できません)

本会催しもの
案内

基礎コース「健康を守り育てる歯科医療をめざして」

2006年7月9日(日) 建築会館ホール(東京・田町)

2006年7月23日(日) 千里ライフサイエンスセンター(大阪・千里中央)

健康を守り育てる歯科医院づくりから今後の日本の歯科医療を考えよう

研究会設立に前後して始まった基礎コースを今年から大幅にリニューアルします。1日コースとし、地方開催を増やして、一人でも多くの歯科医療者に「健康を守り育てる歯科医療」の重要性を知ってもらうことを意図したリニューアルです。

基礎コースは、酒田と大阪で回を重ね、その後、東京基礎コースでは毎回70～80人の会員が参加されました。密度の高い2日間のコースを受講された参加者は、のべ2000人にも及びます。健康を守り育てる歯科医院づくりのスタートをきる機会として、またスタッフにはそれをどのようにして実現していくかを知る機会として大きな効果をあげたと思います。基礎コースを機会に、診療の方向を大きく変えた診療室も少くありません。

ヘルスケア歯科研究会の設立から8年、研究会の活動が与えた影響は大きく、「診療室における予防」への関心はずいぶん

高まりました。しかし、私たちの研究会のもっとも重要なところを実際に知っている人は、残念ながらまだまだ限られています。私たちは、もっともっとヘルスケア歯科研究会の理念と活動を広く知ってもらう必要があると思います。

そこで今年から従来の基礎コースを会員以外の一般の人も参加できるようにします。日程については、多くの方が参加しやすいように日曜1日コースとし、東京以外でも開催します。今年7月に東京と大阪で開催します。費用は、診療所単位(会員診療所に限り)で参加していただくための費用に設定しました。

診療所づくりの報告のパート以外はどちらも同じ内容となりますので、お近くの会場にご参加ください。会員以外の方も参加可能ですから、気軽にお知り合いの方をお誘い合わせ、ご参加ください。

日程・会場

【東京】7月9日(日) 建築会館ホール(東京・田町) 定員300名

【大阪】7月23日(日) 千里ライフサイエンスセンター(大阪・千里中央) 定員390名

※会場は机のない椅子席です。昼食お弁当は付きません。

基礎コースプログラム(予定)

9:30～ 趣旨・講師紹介・オリエンテーション

9:40～ 健康を守り育てる診療室の目指すべきもの 杉山精一

10:40～ 診療室づくり実践報告 国井一好(東京) 齊藤仁(大阪)

11:50～ ヘルスケア型診療と患者-医療者関係 秋元秀俊

昼食休憩(12:30～13:30)

13:30～ う蝕と歯周病のリスクアセスメントの実際 伊藤中(東京), 足本敦(大阪)

休憩(14:30～14:40)

14:40～ 診療室づくりの実践 チーム医療 河野正清

15:40～ 質疑応答

16:00～ 健康を守り育てる歯科医院づくりから、今後の歯科医療を考えよう 藤木省三

16:30 終了(延長なし)

基礎コース参加費

〈診療所ユニット参加〉	
正会員歯科医師 1名まで	8,000円
準会員	3,500円
(正会員歯科衛生士と準会員のユニット参加も可能)	

〈単独参加〉	
正会員歯科医師	8,000円
正会員歯科衛生士	3,500円
準会員	6,000円

非会員歯科医師	10,000円
非会員その他	8,000円

〈参加費用計算例〉	
○診療所ユニット参加	
院長1名と準会員スタッフ2名参加	8,000円+(3,500円×2)
正会員DH1名と準会員DH2名	3,500円+(3,500円×2)
○ユニットにあたらぬ参加(単独参加)	
準会員スタッフのみ2名参加	6,000円×2

基礎コース 参加申込みFAX用紙

※該当する□に✓をご記入ください

基礎コースに参加申し込みます(□東京 □大阪)

会員用(news9-2)

参加者氏名 _____ 会員 No. _____ ユニット 会員 Dr 準会員 会員歯科衛生士
 単独 会員 Dr 準会員 会員歯科衛生士

参加者氏名 _____ 会員 No. _____ ユニット 会員 Dr 準会員 会員歯科衛生士
 単独 会員 Dr 準会員 会員歯科衛生士

参加者氏名 _____ 会員 No. _____ ユニット 会員 Dr 準会員 会員歯科衛生士
 単独 会員 Dr 準会員 会員歯科衛生士

勤務先・診療所名 _____

住所 〒 _____ TEL. _____ FAX. _____